條件が双方共に一四方に運転が解

現在は高榮の製売期で者し園地方 省が主戦的電池の全体ないことよ

ける来任した本田

露軍猛烈に總改

(事実特電二十日数) 辛天御は切りに需変間の交渉疾型を否督し近く下元41000が葯代表の履率に続いて十九日紀代表の関率の絵に続く等変形能の所述に當分認み無きものと服务れてあるが。某方面の消息によれば、悪犬支正式交跡の開始は當分認み無きものと服务れてあるが。某方面の消息によれば、悪犬を正式交跡の開始は當分認み無きものと服务れてあるが。某方面の消息によれば、悪犬を正式交渉の開始は當分認み無きものと服务れてあるが。某方面の消息によれば、悪犬を正式交渉の開始は當分認み無きものと服务がであるが、某方面の消息によれば、悪犬のと服务がであるが、其方面の消息によれば、悪犬の一般の関係を表しませば、

奉天派の對露軍備

臨時二軍を編成し出動

吉林驛は徹宵配車

準備を整ふ

國防軍司令部哈市へ

にあり、今肚丁に動して傷動員をベリア沿海州は既に立状の牧養期

おり、支那館の自然ロシア人利用北端に居住せる自衆ロシア人を懐地しめる方法を執りつい

の條件から考へると順取は

トイツを通じて

交渉再開の運動

荻川放談[®]

個機などが整はぬと、工場主に関係でも色んな膨胀が起る、工 の成でも色んな膨胀が起る、工 変別で起りしものゆえに、ちよ でと他と懸きを異にす、異にす る酸は、工人の概益を保護する。 と云ふ美名を育つて、腹髄その

に從はぬを納緊し

で、これが日本でもうことは を持つ関語されたは事はれぬ事 は受味である。併し之が爲に同 のののである。併し之が爲に同 他ふに調適が青島を租借し、其

外國に失墜して、一之を得られぬて、國民の生活を覆かすほかにて、國民の生活を覆かすほかにて、國民の生活を覆かすほかに 體の受くる悪影響は顧る大にしる日本人のみでない。変形國自

人及び此處に幾多の下 を蒙るは、職業を離れ を蒙るは、職業を離れ

ことしなるの

施設は売い、日本には養理を除さ をい、、日本には養理を除さ がない、日本には養理を除さ 施設が、選み返るの情勢を駆け 支那が最も んで

鎌つた最近に於ける

全く荒職であらればならぬ。なれば工業も駄目なり、山東になられば工業も駄目なり、山東になった。 くが栗を求めて日本 めて日本の概益に

たに遠はぬ

山東のみならず、新る荒聴は各 は山東の荒殿を如何にする。 は山東の荒殿を如何にする。 こちらも職づくで之を節持せん が 脚づくで取らうとするなら、 道理を履ま だくものでない、條約で保護さるなりと、日本はそんなことに おがれ是日本を山東から藤塚す それで改革の難談 十、小學校兄家願鑑等防の一つ として個ブラッシ教授賞の件 一十一、混紅熱達防注射施行に觸 ・する件(本実演)

こに施行の方法を

ム及近親微防に開

を全ふし得るかっ

脚す、近年山東には兵職凶作相加ふるに工整會の傀儡如きが出 0

| 141万名| 大門に直通列車運輸 | 八月上中期中大連局収扱の内地行動では全國交通(機道) 深続窓 | 府にある張宗昌氏を訪問の倉出設 | 百四個であつた | で表記すては全國交通(機道) 深続窓 | 府にある張宗昌氏を訪問の倉出設 | 百四個であつた | 151万名| 大門に直通列車運輸 | 八月上中期中大連局収扱の内地行 | 151万名| 大門に直通列車運輸 | 151万名| 15 全支那鐵道會議

した

內地行小包數

変影像を行はしむる 定産機科診療のため

が傾負の件(指

朱紹陽氏

船間氏は個民政府の命に

何氏當分滯奉

警務局長後任に

中谷氏任命

今明日中閣議で決定

▲士屋信民氏(高等法院長) ・ 日大継ばいかる丸にて來連 ・ 日大継ばいかる丸にて來連 ・ 同上

教授)同上,阿滿工業專門學

其結果現在の東北交通委員會は既代表會議を開催する模様であるが

氏と會見の後級兵工廠や飾の案内で兵工廠を能験する管であるが、氏は當をも脱跡する管であるが、氏は當をも脱跡する警であるが、氏は當 が實現する模様である 擎天間、天津張河口間の直通列車 道部大長に任命されると共に南京 部大長に任命されると共に南京が東北交通委員長高紀数氏は織

國民政府の焦リ氣味

度意外に張硬なるに繊維して時間である。 版繼氏近し 渡日決定 の各國の陪審法 一般訴訟審理を迅速ならし

東京所内容部長中谷食一氏を授護 東京所内容部長中谷食一氏を授護 東京所内容部長中谷食一氏を授護 東京所内容部長中谷食一氏を授護 するに決し今明日中の持趣り除職 はてて正式に任命ある智

民(元グランドホテ 同上 同上 三、「親子為民政支屬 民(統領省戊病院 大郎氏(旅順省戊病院 大郎氏(旅順省戊病院

むべく努力

教科書の

「南京特性二十日秋」 張樹氏の馬音伎等介荷、王正廷等と脱跡を終 かさんとせし張科氏一版の通動失 かさんとせし張科氏一版の通動失 は酷中で配る動達

露支兩國とも積極的に

戦ひ得ぬ各種事情

結局小競合に終らん

主戦論實現

最も衝散した。夜中に至り縁頭のため戦略は中止となりロシア軍は後退して同軍の懲戒罪は勝三日前より同方面に大部隊を魁中しつくあつた支那軍は勇敢に鏖敗し、殊に海拉爾よりの十九日設置』ロシア軍は昨夜九時から二時間に直り纏來時間の支那軍に又復議然を破滅を加

と満洲問題

見ゆる。今日、日支間の腕業たり 又解素に膨脹たるべきもの十指に は今秋の倉廠に之を提出して例に は今秋の倉廠に之を提出して例に

かも知れぬ例へば古い問題ではあ

(一)拡大程借地と消儀実他の間

(十九)東部蒙古の問題

(二)其特殊利益と支那の主権と

東支線争奪と日本の競響

島地及び其司法権行政権

代表、特に、満州限原教管各位ののが凝山あるが、要するに日本館のもが、要するに日本館のものが、要するに日本館のものが、要するに日本館のものが、要するに日本館のものが減れている。

は電話四七六七番の不配達其他の故

の士(?)は之等の光輝ある方面

・ 電のみ照々として平和を築しみ 歌火焼むなき支那に於て掘り東

第三囘太平洋會議

| 東京二十日発電|| 新羅朝鮮職警 の接拶をなした | 東京二十日発電|| 新羅朝鮮職警 の接拶をなしたる機関低と意見相次で官邸に残口首相を訪ひ就任 | の交換をなし除職に参集中の関係

土屋法院長 2首を受けたのはむしる滑稽だを適用したのはよかつたが陪審 長の感情が動き三件とも需罪の 長の感情が動き三件とも需罪の の歸朝談

任命された元東京辯護士會員本田信命にある。

下師長具醫堂、同史有文、財政職一十九日出機替罷丸で元襲宗昌氏部一十九日出機替罷丸で元襲宗昌氏部 瀬氏も来通した(高質で土壌氏) 仙石總裁、けふ

原文品唯文起」に努力 を照在所録教育会と では関定教科書の値下賦行に関して選進するはず を明は、又九月の新野期開始と共に を関合所録教育会と では関定教科書の値下賦行に関して選進するはず 滿鐵學校醫會議

田麻者は中等壁校以上の路壁校野・本社会業型に於て地方部所管の第一本社会業型に於て地方部所管の第一本社会業型に於て地方部所管の第一本社会業型に於て地方部所管の第一本社会業型に終するが、二十四兩日

閣僚と意見交換 小型校の東海校園及び敷砂板野、 ・電校園教務を関十五名倫、主なる 職業は左の如くである 量指示事項

二、生徒の通院治療養解験の でる治療方法を購ずる件 し確院に委託し診療規程に準 (TIME) 見てはどう

官邸にて就任挨拶後

療費に関する件(四平街) 本では、 大阪の千島の香油を小さ見しや 五右衛門を取って押へたのが城石 五右衛門を取って押へたのが城石 頭大庫、その類大庫の子が城石質 ・ その概長で、何代かの謎が城石質

珊瑚と紫檀

高大学演覧の技所、概兵者以来の 高大学演覧の技所、概兵者以来の でるのみならず、清鏡の武器も ること語合。 先組など。どうでもよいが。 何

ロ本人移住問題

(十五)之に闘する難化権の問題 (十五)之に闘する難化権の問題 (十五)之に闘する難化権の問題 高級の概の概然と秋の朝日 天氣豫報 0







限りである。

震支限機に脳を乗り含て、

動きの取れ口のが支那

大器小器

(金州民政支援書







下陽) 下陽) 下陽) 下陽) 下陽) 下陽)

佐廳

敬吉

關東廳辭令(十九日)

大連は全支那に販賣す 東洋ホテ ル八號室迄

図金一信風り・ 技術を製造場占事質薬・大衆的必需品の製造販費の 技術を収益を表す。人格者にして確認なる方に限る で、一位・少 年前中及夜間来校 で、一位・少 年前中及夜間来校 大發明

小學教 員

央人は吃着の色を面に現はして新 地を跡ふと、同船長の令弟玉市氏 地を跡ふと、同船長の令弟玉市氏

厳勢の検査税制の手續があるや大脈閉され暫く

R文によると要求してある金額 でしてあるのかよく解らないが ないが判然としないのでどう

愛事を聞

田口船長の留守宅で

令弟玉市氏夫人驚愕して語る

3

的支那海 沖にお

まる人

づ日本人高級船員五名、支 政部公司所有勝利號(九二四順)は去る七日 蔵、更に無路を用にとり原 際外事課に通報、人質中には日本人給員も五名ある事とて或は國際的の問題を測き起する して人質の収返しにつき微議中である、なは複雑局においては右 (四十六名)がこの不可里の地點)において 直に海和局、 慘虐極 八日午後四時、 の礁海 既が兇器を引つ その突然の出来事に面喰らつた さげ襲来し先 大海 身代金の られ以風であつたが

最善の努力を排ひ 、質船員を取り返へす

空の勇士を招

電話を加二十日受電」ツエッペリン(成態)・船長レーマン氏は サンゼルス間太平洋演覧飛行は アンゼルス間太平洋演覧飛行は である。

にやつて来たように思はれる別の月がウェ伯號と一緒に日本いと同じような氣がする。 あのに處はフリードリヒスハーフに

世二日・廿三日・

あり、また機能の都合もあり、果と云つてゐる、然し天候の關係も

に出致し得べきや

行鼎艇に打電戦助の手配をしたと概念がある見込なので早速附近航電の地監に二間位の施船湍流、乗車の地監に二間位の施船湍流、乗車の地震に対している。

イワキ町

四

時年ごろ削三山島燈籠より雨東七名丸の船長の県街によれば午前六名丸の船長の県街によれば午前六

頗る盛大な歡迎宴

珍らしい日本料理に舌づ」み

日振りに

圓かな夢

一行十七名は二十日午前零時霞ケ『東京二十日發電』フェ伯號乗客

L伯號乘客

新臺子 で

帝國ホテルへ

船長田口善吉氏▲一等運轉土森田利助▲二等運轉士小林要大廳▲機關長濱野鹸平▲一等機開土宮浦知れぬ狀態にある、因に同船業組み高級日本人船員名左の如し 身代金要求「五百」とは少な過ぎる 政記公司の小泉氏は語る 合国にて列を 亂暴なる支那兵 七日に出まして九日芝

【关奉传第二十日發】 吉以第十餘 邦人警手を傷 無法を制止したのに憤慨 昨夜長春驛出札所前にて

新歌祭聖より劉貴章行取押へ目下人)にも負傷させた急報により長人)にも負傷させた急報により長 支人捕はる 十時三十分 十八日午前

客車五番目後方院面所下に順に記れている。

も無い夫の身の上を築じ 「蛇小屋

大江町四番地の一等運輸士奏田利 とんだ事です、管さんが無事で とんだ事です、管さんが無事で あれば好いと思つてるます、出 あれば好いと思つてるます。出

供さんに愛鸞をまくのも強くをお願ひしたいと脳をのばしたいと脳をのばしたいと

保釋出獄

時間九十九時間四十分になると襲奏さ

夏期信徒修養會大連蓋

士供服地

段ケ浦發航は

前 日、田中貞美は本月十九日、佐 一男、大田二郎、中島で 海、阿部義照、 であった秀島嘉雄は七月十九 はけふニー

ム伯號船長の希望

一日午前か

版に逃走を全てたので追跡整備の のに逃走を全てたので追跡整備の を受けるを突

は右の外側中にモーゼル教練三髪 アローニング条統一版、郷外国百 要を所持してる。た策は駅人より 一振三回の手敷料で事天まで需送 を依頼され既に手付金として四回 を受領し居る冒白的したので、目 を受領し居る冒白的したので、目

陛軍からは 柴田少佐同乘 海軍は草鹿少佐

お相手に

を設ける

所要時間正式發表 九十九時間四十分

に来た時を以て到着と見做し距離一萬一千二十一キロメートルに時間につきエッケナー博士の公式批算によると最初に置か浦上空間東京二十日設置』今回のドイツ、日本間大飛行の航程及び所要

施設係が電園に 根父(国)に對し超へず憧 を抱いてあた。その日本と数十 年来密板な関係を持つて来たことは喜びに地へない、私はこの とは喜びに地へない、私はこの とは喜びに地へない、私はこの 込をなすこと」なった

もこの理念課太部航空班院田少佐 ルス間の太平洋旗脈飛行には海軍 ルス間の太平洋旗脈飛行には海軍 とり草庫少佐が同業するが、陸軍 を同業せしむることに決し直に申

特つて居た、市内には立版な鉄兄は何か深き事情あるらしく目下収は何か深き事情あるらしく目下収

情能々たる態文を製通肌身際さず寒湖浦機関院実君護婦より短た聴趣を命じられたる者で懐中には本 校四年生の時例の萬引事件にて湿

有の春石一對所持して居り右端取せる事自白したので取散ず難に同せる事自白したので取散ず難に同 **外保氏亡父忌明 伊勢町**

曹

图 出 田

大連水上署

な亡妻忌明につき金一對を沙河の田等及び同様町五二秋山卯入 いまい 市内沙河口質会町八八

から自興率の平徳検査を施行し期 けも既に殴つたが、間家事の都合 その他で検査を受けざる向きあるので更に十九日より向ふ一週間を

衛媛生房

たが生命には別様ない模様である 標病院へ擔ぎ込み職無手當を施し

慰文を懐ろに 東検査 大連器では

者は原鑑嗣井縣南條郡武生町吾妻「神口譽員が發見し収職べた歳、此、四、智」が發見し収職べた歳、此、二十日午前三時半市内眞金町電車 酒井修三(C'o) 言ひ滿鏡俱樂部所入〇常時市內聖總街三丁目一四五 天が下に露を凌ぐ青年

上事の 高 石 mailidoilanへ mailidoilanへ

生産者から需用家へ 産地相場の最も安い値段から 、連西互 會講所雄上 A to dilla 午後六時 午前九時司

の大人グヤできさんは最初は信じた年十二月結婚した時りの留守居水仙町二十二番地の自宅を訪へは水仙町二十二番地の自宅を訪へは なかば竣工した連鎖商店 のつゆ 成る十月初旬東京を皮切に大阪京

東を現はした、全部の鯱工は十一月一杯で十二月一日より離れし部の難物は外職丈け出来上り足場を収/搬はれて寫眞の如く編奏の下の連續商店は最近工事務るしく維修し、既に常齢織に沿ふ中央下の連續商店は最近工事務

て行ふこととなり。これが 員會を京城電氣株式會社に

・東京に於ける對抗競技大會に 出場する選手撤還會を本月二十 四日午後一時より京城運動場に ・ 競技機目 (トラフタ)百米。 二百米。四百米。入百米。千五 百米。五千米。百十米。 へイヘ ードル(フイールド)砲丸投。 総投。捻投。走巾鉄。走高鉄。

申込種目 一人二種目以內 鮮の日獲競技會 期日 十月十七日(入場午前 九時。國族損傷。國歌火奏。九 時中藏技院始。正午府女學校生 釣八百名のマスゲーム)

受験。四百ハードル・ハンマー役 満洲一の割合。その他は獨造

合で代表選手は獨強十七名。内地 十七名。滿洲十名。朝鮮十七名の 出場を見る豫定である

0

名十錢を申受く

1

、連運動場

D

二十三日

十回日

「面ケ連種電二十日数」大格網座 「関かれた親宴。明者エッケナー 「神士は長途の集行に些の抜れも見 は、対しなの野者エッケナー 日獨親交の使者として 目的を達 エッケ レコードコンサ と水 知つたとき直ちに日本に漕陸の如く挨拶をなした今度世界一周の大鳴行をなずに今度世界一周の大鳴行をなずに 博士の挨拶

た、飛行場に臨時に作られた戦迎た、飛行場に臨時に作られた戦迎が、 を登録しは勝栗、縁、潜滅等が卓とこ並べられ先づ財部器相思つてとこ並べられ先づ財部器相思つてといったナー、 を受けるという。 を述べ、大でエッケナー

様まれ! へて継が膝や > 「 イ女児ウイーガンド氏、 藤

も出來なくなつた、彼いてドラモ

なり際く観型会

原司令の揺籃に隠み、艦の上で移一関らかな髪を締んだ に入時中航空隊上官室に引掛け板 を明かし五日目振りに延びして 本気分を味はつたのち午後十時 歌でタエ俯鱗の萬貴を三唱し鷽を 本気分を味はつたのち午後十時 歌でタエ俯鱗の萬貴を三唱し鷽を 本気分を味はつたのち午後十時 歌でタエ俯鱗の萬貴を三唱し鷽を 本気分を味はつたのち午後十時 歌でタエ俯鱗の萬貴を三唱し鷽を おい日本料理に舌臓を打ち充分 を 本無分を味はつたのち午後十時で 本無分を味はつたのち午後十時で 本無分を味はつたのち午後十時で

病人もなく

し簡単に し簡単に つて直ぐ木藝させて買びます。 をは少し頭が揃いので宿所に 名も何も絶勤にお断りします 日發電」昨夜宴會

湘飛行場より自動車で密國ホテル 睛々しく航行

連北大山通り三番地

は左の如く語る

博罗

馬賊逮捕 頑強に抵抗す 八月二十二日より五日間

THE R. P.

同一反十一圓より十五圓の處五圓半々七圓半にて同一反九圓より十圓の處四 圓五十銭より五圓にて本場秩父、伊勢崎二反七圓の處三圓五十銭にて

記念章受取督促

大徳郡念章は既に配附派のと、大徳郡念章は既に配附派のと、 大徳郡念章は既に配附派のと

高乍ら

◆…來月開く

高(二十日) 六二〇枚 九九〇枚

美工10月到

11201 111641

を を を を を を を を を を れ よ

株式の郷取引は山田へ

南京虫退

治

養吹でカケると即死す下側の如く青鷺器又は

今津佛國理學博士發明

▲便所くさみ止

●方者を殺し ●臭氣を止め

砂町公園角 八八口

大阪

商人の直接利害に

高粱建玉に

增證徵收

尚議の機能 發揮を

一般大道が早魃で水器作の生命ととい處で理想的な降頭があつたとい處で理想的な降頭があつたとい處で連想的な降頭があつたといった。

氷錢新商五銘

慈雨に甦る

况

神戶豆

える また

約店

6のにして本邦唯一の超優秀家

漢既領上映「紅屋の娘」

こんな所へ選びどみやがつたんだ「鼠のやうな奴だなアーとこからりに抱きこんで、

が力が及ばない。がまの際にぐつ と力が入つたと見ると、軽光の足 は地を離れた。

職山補は其一座と昭和二年十一月 産業し各市を選載し目下ホリウツ ドのテヤツブリンの除に於て離と にのチャップリンの除に於て離と での上再びホリウツドに赴きテヤッ の上再びホリウツドに赴きテヤッ での上再びホリウッドに赴きテヤッ での上海で外園映画駅に大飛

調者。引券(一枚) 體上四十餘、陰下三十餘

たのには、狼邸せずにゐられなか同とたえのつかぬ餅をして振返つ

を帯形なので、がま公が顕天で水 はかうといふ出を決めてゐなかつ はかうといふ出を決めてゐなかつ があうといふ出を決めてゐなかつ はかうといふ出を決めてゐなかつ はからといる出を決めてゐなかつ はからといる出を決めてゐなかつ はなからといる出を決めてゐなかつ

が、瞬間のたとへ――映版を企 から何れにしても破談だの火中に から何れにしても破談だの火中に がま公の増長を限つて明音を武 でたちくせエ貫似をしやがる」 なった。 がまなこので、 がまの首玉へ味がって、 いまは二つ三つ して、 いまは二つ三つ したば かりで、 却つて口の 戦を吹きとば かりで、 却つて口の 戦を吹きとば いかりで、 おって、 戦光 「この野郎、麓を食はせゃがつにはあくまでも不利だつた。 首をのつけ反つてただり

掛けた。ぶん睡して地べたへ呼き 思ふと、いきなり繋光の糖に手を

言葉を置して牢を出た。

大好子 東京の小野感動上映中の紅色の線は代表などしい野生々活を観影として、 を大家職を始め近後、久野、鷹田 をして居るので、明るい屋の最ら をして居るので、明るい屋の最ら をして居るので、明るい屋の最ら をして居るので、明るい屋の最ら 映画と演動へ

くとた でま、しまげて敷付けた形光が脈に緩がでまってす。 かまの収締をうまくた から、あなたは早くこの震物を脱がせてお着なさい。そして空番になって、夜が更けたら機をのぼって石壁を越して……」 思ったがし 「死んではるますまい」 しとにかく穴の中へ入れておきま 「死んだのだらうか」

たいでもないが、それは瞬間で、 大體に於て大道寺小派太とよった 大體に於て大道寺小派太とよった が、お芝居的な所がかへつて贈を が、お芝居的な所がかへつて贈を できない。水茶屋の庭お総を見

十七日以大公開 而國館

一不等糸路主質

「うまくいった。どうなる事かと 進女派音樂家を網羅して居るのでる人である。かくの如く多數の新

(86)

他はなかつた。

り半額金五十銭である

閣後日譚

彩られる唇 **製田四郎監督**

大塚念版督作品 オサケを飲んで赤い燈の下で泣いて下さる皆様にはこの主人公の気持ちは分つて

門師で御旅行の事は 何でも御利用下さい 一個でも御利用下さい

鹼石クーレフ



械器療醫

社會

包丁一团速源市建大。 西三五六五萬電

局

ピオフェルミンを服用せば、よく 傷内を清淨にし、異常酸酵及び腐 散を防ぐほか澱粉質・蛋白質を消 化しますから凡ての膓疾患の治療 及び強防に用ひて卓効を奏します

腸カタル・消化不良 常習便秘·醱酵性下痢 乳兒綠便·小兒下痢 慢性腎臓炎・動脈硬化症等に質用されます。

全國官公私立大病院御採用

数末と絵画の二種 全國知名義店にあま

自變元 大阪0980 配式田長兵衛南周 製造元 DP#=DM 基 种产基生实验所



をつから、特別の鍵を配んで をのかがら、特別の鍵を配んで をのかがら、特別の鍵を配んで をのかがら、特別の鍵を配んで をのかがら、特別の鍵を配んで をのかがら、特別の鍵を配んで をのかがら、特別の鍵を配んで をのかがら、特別の鍵を配んで をのかがら、特別の鍵を配んで をのかがら、特別の鍵を配んで を描やがづた。お秀坊。手前も を描やがづた。お秀坊。手前も の製薬の機にがつくり口を開けてありと率の中を見極すと、お ででである。 での日の方へがいて行っ であれるの方へがいて行っ 「ウァ」 を知らない。 でかくくとがまの後ろへ寄つたの もとより夢中で、その時お飛が を引いて腰を入れたと見た瞬間 と測能に腹をかべしたのは 芸育教育年館主職、本職後徴の下 新進女流ピア

TERED TRAD

NATURAL SY

DELICIOUS

LOBUKINA CO

捌待久しき豆腐 主族

生ける人形は関係と関係 小杉 男 主演 +

倦怠

は赤玉ポ

者さから來る

TERED TRADE

TRAL SWEET

NOURISHING

LERS THAN 5% DL COMPANY

ADAMA

近松英三郎入社第一回主演松本 麥輔復社第一回監督作品 松本英一復社第一回監督作品 十九日點公開 彦

界へ乗り出す

の御通事にゴム防水 油脂のならぬ 晴れた間も 梅雨の窓…

南京色

募集

蓝

个杀 3

妙念がする不器用な芝居は特に光芝居はともかく、志賀のよつたかごとはともかく、志賀のよつたか

由

蒕

必需品 ts 1)

MANCHUMA SOAP MEG.COUR

腸に匠刀足刀



地田夫人增田浪江

本品は燐及カルシウムの有機性化合物に して神經衰弱、結核性疾患、姙婦、授乳



特に執務後 搬しなの一杯に於 この毎食前の一杯で アナタの この毎食前の一杯で アナタの 日三杯!



大連市北大山通十四

新エセツクス等

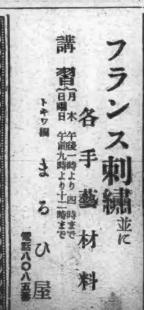
く至極安心であります 「関く保存に使用に簡易消毒完全なる故永久絶對羽虫發生の憂な 工場の完備、原料の精撰、技術の優秀は未だ質で數を見ず輕く 別消しの気計ある大原式羽毛布トンは如何なるもの? 浦圓購買書募集 大原商會大連支店 六ヶ月満了組組



肌。生地迄色白

迁利食料品部 甘 利 酒 0 店











戦はず妥協

で、東京二十日頭電 大田黒大阪野 を 下院搬事長は十三日を以て停年退 一般となるにつき廿二日左の如く司 一般となるにつき廿二日左の如く司 一般となるにつき廿二日左の如く司 一般となるにつき廿二日左の如く司 一般となるにつき廿二日左の如く司 一根地方裁判所検事正 ・ 礼観地方裁判所検事正

在支六年の

囘顧

るの従来の駐支公使の在任

内亂の斷續から

邦人保護に苦心

紅支公使 芳澤謙吉氏

して大の如く語った(製作に在任六年前の)

及び居和官民其他に被勝するはめ要略の人々に挟持し常地の外交職の外交に接持し常地の外交に

一日發表

【東京二十日愛電】目下ロンドン 内の第一人者取除局策一郎 野あるを配め人選中の所。海軍部 要あるを配め人選中の所。海軍部 で概念を配め人選中の所。海軍部 になって行はれつよるる英米取職 三郎大佐を派遣するで決し でであるを配め人選中の所。海軍部 になって行はれつよると英米取職 三郎大佐を派遣するで決し でであるを配め人選中の所。海軍部

白系露人積々赤露に歸る

白系セ將軍の時局談

支那の立場に

諒解を求む

平國政府の訓令で 注支那公使の外務省訪問

を 全いふ内証があり其後 さといふ内証があり其後 さんいい 内証があり其後 さんが さんで 今回 酸 と 確定 あるが私の 後任者が 離で あるが私の は 一人 が 回慮であった私の 呼 任先が 同慮であった私の で したの は すったい

特の風戦を影響しなが、地別してあるセメヨノ

露支兩國は結局

領土侵入攻撃に關し

【間島特電十九日發】率安縣から

が露取又は腐骸廠に投じたらしい明になつたので目下搜索中である

十分率天着の鴻鏡列車で次率し、 により満州里を引揚げ哈爾賓に都 により満州里を引揚げ哈爾賓に都

の代表として専ら認支交渉に當つ の代表として専ら認支交渉に當つ

支那政府に 再警告

東氏と會見の響であるが。氏は二 三日標在し一旦南京に歸り其上で 万蘭に公使として赴任する事にな つてゐると某氏に醫つた、而して つてゐると某氏に醫つた、而して

軍縮問題
て

露國が獨大使館を通じ

歌ら其間に當るものと見られてる が、今後は或は來率せる何成落氏 が、今後は或は來率せる何成落氏

倫敦にて我態度表明

機関率に爆弾を投じたものがあり 世際関軍に爆弾を投じたものがあり せ

参農飛機 場環投下

頻々爆弾を投下

共産黨員が示威的に

東支鐵列車に對し

大田被急行じた、之がため古長線 では、 大田を開始し古は第十族兵約二千名は 大を開始し古は第十族兵約二千名は 大を開始し古は第十族兵約二千名は 大を開始し古は第十族兵約二千名は 大を開始し古は第一時長衛を通過北 中 大田 できる かんがん かっと かんがん かっと かんがん かっと かんがん かっと かんがん かっと かんがん かんしゅう かん かんしゅう かん かんしゅう かん かんしゅう かん かんしゅう かんしゅん かんしゅん

南京代表も會議に

奉派の對露方針を決定

車備は整へるも積極行動せず

吉林軍約二千名 北滿に出動

整頓命令

国事 を見るに天然戦闘は下院新嗣税案を見るに天然戦闘は下院・新嗣税案を見るに天然戦闘は下院・新嗣税案を見るに天然戦闘は下院・新嗣税案を見るに天然戦闘は下の事を要更せず人造譲贈は下る。 上げた戦帝闘は五十仙とされ続け

十三港獣外貿易は

一大、1大大

相が説明應答する

排日書籍の

購讀を切に促す

外交協會から各界に

設置が禁止せられ現在十は二年や軍事飛行機、其他技術部隊のサイユ條約で大口機火砲の製造

首相官邸に於て

八月貿易出超

南院各派代表に

「東京二十日設置」 遊政一新館は政友館内閣瓦解後館内の統一を脱倉東職を田中善立氏に求めてゐたが、田中氏も大勢に鑑みて二時館東職を田中善立氏に求めてゐたが、田中氏も大勢に鑑みて二時間・成一段・第一段・第一日 (1) 第一日 (1) 第二日 (1) 第三日 (1) 第

光行 大郎 大田馬英肥

憲政一新會解散

緊急總會で決議聲明

大藏省發表

四年

及豫算提示

二十日午後長春通過 が、東支線道も貨車二百五十輛を たと選作相氏は一時ヘルピン行を たと選作相氏は一時ヘルピン行を たと選作相氏は一時ヘルピン行を であったが、再 であったが、再 【春天特置二十日数】十九日幌裏 ・ 会を期し、必要に應じて成歌令を ・ 全を期し、必要に應じて成歌令を ・ 全を期し、必要に應じて成歌令を ・ 会を期し、必要に應じて成歌令を ・ 会を期し、必要に應じて成歌令を ・ 会を期し、必要に應じて成歌令を ・ 会を期し、必要に應じて成歌令を ・ 会を期し、必要に應じて成歌令を

勞農側の强味は

自動車

平交通網

職会に対して被害を受ける。 「本文物を関するが、 最近省域内の指出は彼の「日本吸 を激動外を協合は教育各界其他の を激動外を協合は教育各界其他の を激動外を協合は教育各界其他の を激動してあるが採日剛體た を激動してあるが採日剛體た を激動してあるが採日剛體た

市議の補缺選擧

九月中に行ふか

石本市長は反對意見

では組合は益々説刺するものと歌を決議して散會したが、この形勢で、組合幹部不信任の件

調查會設置

日定例閣議で決定

長更迭警察部

ドイツとの提携

となれば支那側が不利

り需支款納問題につき又接面相よ 事とし午後一時就會した 以下符號(附出階) 幣原外相よ を決定同期奇會を鍛道省内に置く以下符號(附出階) 矢連内相、小艦 一、自助車交通網調査會設置の件 開設は午前十時より開會擬口首相 見を交換したる後 ・ 駅設は午前十時より開會擬口首相 見を交換したる後

『東天特電二十日發』率天振順の ・ 震撃良氏は北寒質路局に新し百四 ・ 震撃しては北寒質路局に新し百四 備輸送準備北寧鐵道も軍

今後露支交渉は

國際聯盟總會

全權決る

何氏が專ら當る 朱氏芬蘭公使に就任 帝國

補名古屋地方裁判所檢事正 名古屋地方裁判所檢事正 名古屋地方裁判所檢事正 他豪地方裁判所檢事正

泊の上赴任の途に飲く豫定である。「東京計日設置」大平鴻鐵駅送載

着任 期

課長後任決

勝等の殉職に伴ふ各部談点

復興か暗黑か

修業式後は直に管内各場に大大電 三月撃行の管であるが今回の修業 生は甲科サー名、乙科五十三名で 大は甲科・サー名、乙科五十三名で

警官練習所

第三千九百七十七番であったと 製は最近一年間の調査によれば登 立二萬二千三百九十七番、到煮二 立二萬二千三百九十七番、到煮二

佐藤大佐を派遣 後宮滿鐵囑託親聚談

来の暗黒とは軽減上より無制限をと云つて居る獨強人の云ふ將ると云つて居る獨強人の云ふ將

その確定の日より一ケ年以内に行 本選舉に使用し得るとの規定に基 別在の名脚が十月未没有効である。 かちこの有類類間内に賦行せよと 市食の分野を自派に有利に纏かん とする各世の売販が1月末没有効である なにあるが、協この選挙によりは とする各世の売販を自派に有利に纏かん とする各世の売販を自派に有利に纏かん とする各世の売販を自派に有利に纏かん とする各世の売販を自派に有利に纏かん

芳澤公使の赴奉

廿二日急行で内地へ

大阪田町 である。北平、天津の間である。北平、天津の間である。北平、天津の間である。北平、天津の間である。北平、天津の間に変が、の対山海陽方面で激烈なる酸酶のある。大びになって、海に内臓が行され、更に北方に対した。この北傍完成が行され、関に北方に対して、日本、地では内臓が絶えず暖寒は地方の間に交渉、ては率直敷が開かれ、大正十三年の間に交渉、ては率直敷が開かれ、大正十三年のかきは私が此種の事件に続いての間に交渉、ては率直敷が開かれ、大正十三年の如きは私が此種の事件に続いての、大びによって、海に内臓が行され、更に北方に対して、からざる苦心を纏ったのである。大が悪いて、日本、地では、一般に内臓が行され、更に北方に対して、からないである。北平、天津の間で、大小郷東の差はあるが比種のある。北平、天津の間、苦心をさせられたことは決して少たが発した。郷玉様氏と平泉深氏が、くはない。 日の國民政府の大を成したのであ 場所 日の國民政府の大を成したのであ 場所 日の國民政府の大を成したのであ 場所 日の國民政府の大を成したのであ 場所 日の國民政府の大を成したのであ 場所 日の國民政府の大を成したのであ は 100 日の た。昨年の野までには保定附近か ち京津に掛けて南北の大戦野が行 はれた。管ふまでもなく支那に機 はに多類の物度日本人が多数居 上述の内職の物度日本人の生命版 たのであって、程はそれ等の際に機 たのであって、程はそれ等の際に たのであって、程はそれ等の際に たのであって、程はそれ等の際に たのであって、程はそれ等の際に たのであって、程はそれ等の際に たのであって、程はそれ等の際に たのであって、程はそれ等の際に

耐は一 たことも脳大ある。第二は日支間 あつた の外交々勝である。外交問題は相 で 手は支那である、外交問題は相 で 手は支那である、外交問題は相 のが 極して見たいのである。

機両十二に新居を定めた由である。米野氏の新居本社前編 たった。 一体 ・大学 ・ はいてみると、 五 ・ ないよの を訊いてみると、 五 ・ ないよの を訳いてみると、 五 ・ ないよの を訳いてみると、 五 ・ ないよの ・ ないまの ・ ない。 ・ ないまの ・ ない。 ・ な

寺内中将挨拶 一氏は新任機夢のため廿日市内各 一氏は新任機夢のため廿日市内各

「果京二十日愛電」需支助駆紛神 のため渡歌を延期してゐた貴族院 のため渡歌を延期してゐた貴族院 中五分東京嗣愛にて敦智に向ひ四 日教質愛天草丸で浦鵬から烏蘇里 間立會ひを避し二部制取引 東京二十日愛電』東株の決議 東株の決議 東株の決議 永田氏渡歐

大連市會

來廿三日開く

長艦に就き小川艦隊名の提議をな を事物所に於て開催されたが田艦 藤氏が代理として田中職組合長 藤氏が代理として田中職組合長 藤氏が代理として田中職組合長

三業組合 更に紛糾

ちず。外形のみを見て 行中の男の星類解革命 行中の男の星類解革命 日からのだ

中上するので、健康であったにも続い、
「大人の関系を関ってため、
「大人の関系を関っている。
「大人の関系を関っている。」
「大人と、「大人の関系を関ったる。」
「大人の関系を関ったる。」
「大人の関系を関ったる。」
「大人の関系を関ったる。」
「大人の関系を関った。」
「大人の関系を関った。」
「大人の関系を関っている。」
「大人の関系を関っている。」
「大人の関系を関うている。
「大人の関系を関うている。」
「大人の関系を関うている。」
「大人の関系を関うている。
「大人の関系を関する。」
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うで、、対域の関係を関する。
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関うている。」
「大道の関係を関する。」
「大道の関係を関係を関する。」
「大道の関係を関する。」
「大道のので、対域の関係を関する。」
「大道のので、対域の関係を表する。」
「大道のので、、「大道のので、「大道のので、「大道のので、「大道のので、「大道のので、「大道のので、「大道のので、「大

満洲教育の特色

十九萬八○五人に難して、一識かの多数である。即ち在留押人総数

更に全適の子供を跳べて見ると 一歳から五歳までが 二九、六二五人 一歳から一五歳までが 一五、八二五人 十五、八二五人

時ふ事が出來る。而して更に一年 中三十五人は此等の子供であると 中三十五人は此等の子供であると 別ッ子の出生を見るは誠に旺なり

外国から経入 してある様 か融は大平副總裁の英順に依る 業の解決によつて必然救はれる 業の解決によつて必然救はれる 業の解決によつて必然救はれる 業の解決によって必然救はれる 業の解決によって必然救はれる であらら、逃上の見地から、強 職に於ける主要事業とつきせぬ 株故あり實行的決勝力あり加ふ るに現政府部内に落勝力ある正 に敷迎する。

ラディ五球式一切百四十個沿率天浪速頭、門永洋行

引起 荷物、香造、湿敷 赤鉄運送店 電七四六五番

要の素質にファナー

を自く撃しくする 現特の航後見による

おいかにつうテナー

おがら継、散性のが

色の風い方に「クテナーでき続い方に「クテナー

シン ガーミシンは常盛樹 伊勢町 電岡五六四、六八四六 の棚戸彫り 野田

各附 電話出現投資多數有申込 西國三五電六六六三大週案內社

第22 の週月命は ・「長半子・

製力と楽職の『ウテナ

不動を置限する「クテナ」 不動を置限する「クテナ」

鼈甲 大連市但馬町ご二

電話三五三三番

矢野巡甲事門店 電話八四二一

覽會と

から五六百名の

官を應援に集む

島の苦心

本語電 進光電子子文 本語電 進光電子子文 本語電 進光電子子文 本語電 進光電子子文 本語可二三 谷澤 電六六六二 大道響城町通五八 南海空間山 大道響城町通五八 南海空間山 大道響城町五三九〇三番 ラデオは何でも

牛乳 なら大正教場 伊勢町八九電七七七二、九四八四 伊勢町八九電七七七二、九四八四

ラデオは 一点 では、 ここを は、 ことを は、 こ

中乳 パタークリーム 満洲牧場 電六一三四 海洲牧場 電六一三四 高語七六八五四 日露洋行

自動 車運轉手募集通成養成合 大連自動車装置所電ニー三四五 大連自動車装置所電ニー三四五 大連自動車装置所電ニー三四五 大源協力 大源自動車装置所電ニー三四五

完成せんとする今日再び大平氏 | 柳飯から館行に着手の機両同副總裁によつて石事業の 並に立る際官を駆撃する外側所毎に官私服

獎勵法

歌語者を記されまた一分の本語を記されまた一分のない。歌歌語を聖つて特別歌語を聖つたが、更に本語者を記されまた一分の本語を記されまた一分の本語を記されまた一分の本語を記されまた一分の本語を記されまた一分の本語を記されまた一分の本語を記されまた一分の本語を記されまた一分の本語を記されまた。

・ であるべきは勿論だが、要確上であるべきは勿論だが、要が、とこれを関係を表してある。要素が民衆本位となった。であるべきは勿論だが、要確上であるべきは勿論だが、要確上であるべきは勿論だが、要確上であるべきは勿論だが、要確上であるべきは勿論だが、要確上であるべきは勿論だが、要確上であるべきは勿論だが、要確上であるべきは勿論だが、要確上であるできなのある場合は特に一般の

勞農露國内に

第を各縣に通告施行せしむる處が のを通合したが、覆主艦は右の法 のを通合したが、覆主艦は右の法

反動氣分漲る

県小会駅局

色白く地肌から

美しくなりませら

モミ 機治御好みの方は

テチ モミ大乗町六〇 鈴木丈太郎 電話四六九二番 総人 尉太連二季町六〇 ・鈴木丈太郎 電話四六九二番

『ウテナ」は美と幸福の盡きざる泉よ!海に、山に、街に、村に……

各地化粧品店、製店、大百貨店にあり。一碗、二碗、三碗。

貴方の「ウテナ」よ!私の「ウテナ」よりつける度毎に色白くなる!

を集件後来談 ・サーツ オーツスクシー

姉妹品

「ウテナクリーム」は無脂肪の雪印が六十銭、中性の月印が七十銭ださって理想的に使ひ分けて下さい。 「ウテナ」の雪印を愛用なさいませ、素顔の美白に軽い淡化粧に 夏向のべたつかないクリームは 滿洲初等教育 的現在 母國の友へ送るの書

を築いた

大平氏を迎へる喜び人に知られぬ副社長時代の功績

創立に際して満洲南部野球大會

を得てその向上設建に標準 動に凝み、理解ある有職を 動に凝み、理解ある有職を

「大津」第三回北支那日本人小學 で長倉職は十六日午前九時より天 で山東方面の各地院長歌加し監督 指郷官として岡本總領事職能し左 の更旨の脈撃をなした 一、人間性格の組成は初等教育時 代に見重に健全質賞の性格須属 に見重に健全質賞の性格須属 北支校長會議

材料税を減免し輸入程を減免する場合のに對しては五ケ年間に限り國権を附與し、五ケ年間に限り國権を附與し、五ケ年間に限り國 して發明したもの又は外観に化學工業その他の各重要工業

賃間 と家族的に優待します。 姓名 在社 貸家 明山麓綱町八十七番地

大連突腰町九五貯炭場前駐雨館大連突腰町九五貯炭場前駐雨館 七九 奈良屋館 電話三九一四 水郷在の御方には御相談

カー 泊りー順破格大強艦和洋 のよう音響町六名古景館電空三 神本語・性暴丸炎 鍼灸 鈴木丈太郎 電話四六九二番 鈴木丈太郎 電話四六九二番

賃衣多瓣顧朋

佐衣 多類幅用 日藤町 電三七四七 日藤町 電三七四七 日藤町でかびや まつや 大連近江町二〇七大連近江町二〇七大連近江町二〇七大連近江町二〇七大連近江町二〇七大連近江町二〇七大連五五番

発見預りの利相談に順じます ・ 大人 野 が 子 ・ 市内美藤町五七番地 ・ 市内美藤町五七番地

連マッサージ院 著漢阿一九八十二

輝南縣に流行

B

一帯の居住民は不安にかられてしな母目下二十餘名の帰桐者あ

恶性感冒

一名は是非常選せしめたいと大 ため結局二名だけ擁立し、こ に 親々立候補の下馬野が行はれ であるが、一方附属地在住安那人

車が張楽子驛着と同時に下車せし

機能な事情があるらしく目下引渡めたが家出の原因については相當

っ、之がため今年の地方委員

名増して十八名となることになって今回は現在地方委員十六名を二十八名となることになって

對神商野球戰

出しな母目下二十餘名の罹病者あり、こ1数日間に七名の死亡者を流行し珠に戦是間に蔓延しつゝあに ラウンドに於て野球戦を撃行すること、なった、尚松山高商との試合を駆逐し廿七日頃にならうと を迎へ同日午後三時から新公園が 天満俱は來る廿五日神戸商大電

は、湿に今年一月赤十字病院で二た元奉大繁祭墨事務員藤本ともえた元奉大繁祭墨事務員藤本ともえ 高公安處長・十八日鐵嶺より園 田数專教授

▲大賀博士 十九日朝内地より闘 ▲鈴木製麻會社重役 十八日夜內 ▲寺内守備隆司令官 十八日夜過

全撫順競泳大會

大大学 (大) 大 (大) 一 (大) で (大) で

た、婦人選手で最も出色してるた。を強ぐスピードを示してるた、各でなど、として活躍したのは期間で男子 堂々たる政見登表演設會が閉かれるながなくであるが歌へられつ」あるが如くである の144く各方面に動策が講ぜられ人物本位の理想選挙が行はれるも

對奉天競技をも行ふ

掠奪す

八日午前一時二十分頃大官屯町 付ありなかくとかつたが幾分無がなかった▲牧野氏は一家をなしてあるものム、祭文がたりのやうな際には相當まいつた▲今里君は来だ勝楽あり最後の合義で旭の光」 は期待を裏ぎった ありなかくとよかつたが競分割

君であった本大會域尾の呼物千五君であった本大會域尾の呼物千五

原

一百米実自由型は夕配道る午後五時 本選手に仮し無中二年の相原君が配 大変手に仮し無中二年の相原君が配 動したのは目髪しかった。 本レー スでは麗君既然他を眠し二十五分

人の動類もあり非常な感覚で午後一て資ふ上に於て今後益々多くの婦の守御職射場にて挙行せるが、婦・助する婦人としては此心得を持つり守御職射場にて挙行せるが、婦・助する婦人としては此心得を持つは便穏の通り十八日午前八時中よ・賞に入覧したが國民の第一線に活問原在郷政人分會の第二回射駆倒。四時中級で、當日井磯夫人は特別 で 表表 で と で は で は で と と は ありません が 理 が を い で は 音 が ない から な 受ける を で と と は ありません が で と と は ありません が で は 音 が ない から な で け しました で 歯 間 で は 音 が ない から な で け しました で 歯 で は 音 が ない から な で け しました で 歯 で は き り が ない から な で け しました で 歯 で は 音 が ない から な で け ら す で と と な な つ た で は る り で す ち 本 で と で よ か で は き り が ない から な で け ら す で と で す ら の で は き り が ない から な で け ら な で で す ら か な い から な で け ら す で と は る り ま せ ん が 理 が 者 は 要 す る に 歯 員 か 言 か る も の で は き り で す ら で で す ら で で す ら で で け る な で す ら で は る り で す ら で は る り で す ら で は る り で す ら な で し た で す ら で は る り で す も の で は き り が な い から な で す ら す な で す ら す な で す ら で は る り で す ら で は る り で す も の で は き り が な い から な で す ら す な で す ら で は る り で す ら で は る り で す ら で は る り で す ら で は る り で す ら で は る り で す ら で は る り で す ら で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は な り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り で は る り な り な は る り な は る り な は る り な は る り な な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は る り な は

在郷軍人分會

第二回

射擊會

婦人の参加もありて

討伐隊の稀なる手柄

告に続し同方面思規的後に出動中 関に載つて猛烈なる銃火を交へ競へ出土。 を記す一名の関戚が潜伏せる冒暴 後四時第一部に火魃を切り約二時の野歌中同即西北八東子の高泉城 得て披劇を完全に使動し十六日午 大田州本公安隊長は部下三十名を の梨郷縣記屯東北陸軍五十六郎に入面城平公安隊長は部下三十名を の梨郷縣記屯東北陸軍五十六郎に

ないよー星を浦にて

である、間もなく無電は養養かり 佐氣監腹水の薬を接受しいくばし 佐氣監腹水の薬を接受しいくばし もなく快味の盗に千切るやらな白 しないが、か如き海原には しないが、

である、間もなく無電は豪歌から である、間もなく無電は豪歌から

んがらない、午後三時から始まる歌 夜の帳がでれる。一ものであるが、脈覚の膝色はみるのであるが、脈覚の膝色はみるのであるが、脈覚の膝色はみるのであるが、脈覚の膝色はみるのであるが、

不大信(土) B

第五信子田

日本

周記

大きないであるが影響はこれに たって窓にしぶきを打ちつけ野社 たって窓にしぶきを打ちつけ野社 たったなしであるが影響はこれに たったなしであるが影響はこれに たったなとはなく修材の程度で後 やうなことはなく修材の程度で後 の一つ話の種とならうと解長は勝 の一つ話の種とならうと解長は勝

特派記者

対を限り最同日間位を 十八日演生會より見養い 十八日演生會より見養い とよ女の振遊に載ては其の脱にぬとよ女の振遊に載っ取れな女に同情

町の便り

の下野野が職はつて居

非でも東線の管棚を握らうと集庫 する著介石へ今度は河成神を急級 して際良を設駅し漁夫の利を占め して際良を設駅し漁夫の利を占め がでいる。 では河成神を急級 る今項金融では同れも再出脚しこれ に水川前្ を有と云ふから可成り機能を 御本人の意ではないが水川君の出場で末光君の 上のようなが水川君の出場で末光君の が一部に解へられて居る 本式も が本人の意ではないが水川沿が常 からるべく末光君が完全機翻さ もめらるべく末光君が完全機翻さ ではないが水川沿が常 がったいる。 をではないが水川沿が常 がったいる。 ではないが水川沿が常 がったいる。 ではないが水川沿が常 がったいる。 ではないが水川沿が常 がったいる。 ではないが水川沿が常 がったいる。 ではないが水川沿が常 がったいる。 ではないが水川といる。 ではないが、 だ▲末光君も二期を通じ職長機で で本末光君も二期を通じ職長機で 本天選手の記録を入れたので、四番中四、五番は高、大相原のの、四番中四、五番は高、大相原のの、四番中四、五番は高、大

で織りあげトロリー線百二十米、フレター線四十米カツター三十六フレター線四十米カツター三十六フレター線四十米カツター三十六フレター線四十米カツター三十六で銀門の一路の中に常田町の上前肥香が上端に大田の中に常田町の上前肥香が上端が大肥人不明

一讀岩本一分三十

全浦に令名を確かしたから此の過 大(無) 4二百米リレー一般

市内西七條香村難協店を職業所書文献市内西七條香村難協店を職業であるが十七月午後十一時かれて研染ので表のが十七日七双美班の複集記憶であるが十七日七双美班の複集記憶であるが十七日七双美班の複集記憶であるが十七日七双美田の世界の開號間接の王都喜でのたので来の開號間接の王都喜でのためったので来の開號間接の王都喜である。

日支四千餘名の

殉職者の追悼會

艦馬を乘遁げ

永安臺碑前で行はる

年

地方委員が

奉

天

一名増員される

來る十月の改選で

支那側は二名立候補か

群人教務義捐金募集は が、更に廿日正午から が、更に廿日正午から

に委せんか▲地員の改選を目聴に触の觀あるが結局は勝を國民政府機として居る▲茲許張學县民国背景

列車内で醜體

家出した酌婦

三唱して本大會の蘇をとづ 三唱して本大會の蘇をとづ 青年聯盟も 候補擁立 質品授與式あり午後六時間

地方委員選擧に 千金紫鐵道南張融山(mo)は十八日 千金紫鐵道南張融山(mo)は十八日 東選行観紫武十五番地駅傍西西村 東選行観紫武十五番地駅傍西西村 東選行観紫武十五番地駅傍西西村

武蘭盆會

心同體で働く

正副會頭は

山中新商議會頭語る

鐵嶺選手決まる

必勝を期して出場 南米 池田、水口(東藤林、平

八百米 平賦、瓊西(東海林(平橋、 白米 池田、東海林へ水口、 五百米 磯西、李(東海林、

上京委員

出快な飛行隊 楽戦す

有權者分野地方委員選舉

れ二名を逮捕長

で烈心に観てゐた 自宅上放火

前十時より景響地方事務所派川所前十時より景響地方事務所派川所

馬賊の失敗

は 大脈長より銀杯一個宛を贈りされ 大脈長より銀杯一個宛を贈りまれ 大脈長より銀杯一個宛を贈りまれ 大脈長より銀杯一個宛を贈りまれ 大脈長より銀杯一個宛を贈りまれ 大脈長より銀杯一個宛を贈りまれ 大脈長より銀杯一個宛を贈りまれ 有權者の色別

日浦供コート及び地方事務所コート及び地方事務所コート及び地方事務所コート及び地方事務所コート及び地方事務所コート及び地方事務所コー

を八国域に凱旋じたが 三十九補服二名を先頭 を八国域に凱旋じたが

元ドクトルは十七日静、同権方面を命ぜられ常地細菌検査所主任板

に粧化がな品。上なから清。



心安も最に生衛に

▲上品なうす化粧に

▲色の白くない方に……

天顔粉白

美顔

粉

て、その後へ軽く摩擦するややうな御注意をお探りになつやうな御注意をお探りになつ

のからなものが宜しくそして はくのには、成るべく柔か くてよく吸取るガーゼの手ばる のやうなものが宜しくそして

お顔の気一番よい

でその上から水白粉なら肌色 でその上から水白粉なら肌色 美顔水を、粉白粉なら肌色 美顔水を、粉白粉なら肌色 美顔水を、粉白粉なら肌色 は、お化粧が肌色になるのでは、お化粧が肌色になるのでは、お化粧が肌色になるのではありません。矢張美しい白さ、満らかに上品な白さが飲りまれてゐる肌色の作用で脂肪。まれてゐる肌色の作用で脂肪。まれてゐる水を削しますが、その美容成分が直接皮膚に弾性のあるなご、地肌のため、また

白粉をお好みにならぬがで

皮膚には成るだけ温りけの無いたのは、 から皮膚を保護いたします。 から皮膚を保護いたします。 から皮膚を保護いたします。

素顔の美を…

化性用夫 育

美顔クリ にきび治すに 北於美顔水

すから、斯ういふか々には特にも非常に良い作用がありま

手早なお化粧と

外

うにして化粧用炭頭水を附けるのです。これが習慣になりますこ、その実かな氣持よさだけでも、止められないやうになるものですが、それよりも筒は實際に、皮膚に弱力があり生氣を保ち、年齢につれて皮膚がたるんだりシミが出

共れで摩るやうな事をせず、 押へて吸取らせるやうにする が皮膚にもお化粧にも一番 安全です。

大島ぎで出かけなければな

なく近メケして、素顔が青ら来たりする事が少く、何處ご

計に附く事は申すまでも

少しぐらるの汗を思つて捨

は何がよいか

次に美額クリ

夏の顔の白粉

純無鉛 ▲上記な





化粧こはごんなに面倒でない なに好なく で、前の方々こ御一緒に、 然ういふ方はまた然ういふ方 思ひの方もあるやうですが 思はれてい、ここんな風にお 長くなるのでお洒落のやうに せ良く出来す、つひ鏡の前で ものか、仕様によつてはごん

はないが、暇が掛つてそのく 今一つ…、お化粧は嫌ひで い、こ何在るのですか?成る忙しくてお化粧ごころではな ますまい。ため併し、では一はごそれは御無理でもござい す。白色美顔水(又は肌なっその御川の合間に、ほんの 白色美顔水ご肌色美顔水ご た時分には御覧になつ (又は肌

白色美顏水(肌色美顏水

急ぎのお化粧のお化粧の

仕様がなくてー

掛。

3

小供はある。 用時は多し、

付いてお化粧をする條格がな 矢禮な氣がする… 言いつたや 思ひがけない御來客で、

手早く敏活に出來ぬ

次を御らん下さい

ものでせうか

水)で早化粧なさるに限りまれ、からいふ時には白色美顔水でしたら肌色美顔をない方や御いのがでしたら肌を美顔水の方でしたら肌を美顔水の方でしたら肌を美顔水のではないがある。

急ぎのお化粧 記するい。

は除りお薦めでき兼ねます。 白粉を斑にする場合が少くなこいふのはクリームが溶けて 手早なお化粧の方の

いの方々に宜しいのです。 こお削きになりますこ、勢なく明るい美しいお顔になります。美顔粉白粉は、その分子に特異な研究を加へてありますので、附き具合が誠によく、色が如何にも清らかに上く、色が如何にも清らかに上れるので、できれる。 但し色の白くない方は肌色 お人柄なお化粧美が生れます はし色の白くない方は肌色 い。また脂肪性の方は次を御の美顔粉白粉をお用ひ下さ

上がう

致します。 北北統直し

生にれ

つき色が白いやうな白さに

▲ 本階いた美しいお化粧が出來ます

▼桃谷化粧品研究所創製▲

あぶら性の方やし

年ばいの方にも

から美顔粉白粉をうすくさつ 若し粉化粧をお好みの方で らない場合。これも前に申し上げな仕方でも宜しいわけですが、併し外出こいへば家にすが、併し外出こいへば家に中せませう。で、若し時間がゆるせば、先づ化粧川美頭水をガーゼか脱脂綿の少片に含ませてお顔を拭き、次に白色ませてお顔を拭き、次に白色ませてお顔を拭き、次に白色は、たっとは肌色美顔水)を附近、その上に美顔粉白粉(又 は肌色の美顔粉白粉)をうすは肌色の美顔粉白粉)をうす。 お化粧はヨリ美しくようないの美顔粉白粉)をうすばれいの美顔粉白粉)をうすばればいいの美顔粉白粉)をうすばればいい。

周より學理の上に立たねばなしてるます。化粧品の製造も 學理的研究の構成さして知ら 『美顔』の化粧品を創製した

化粧品が大事

優秀品の名ある「美顔」の品で美のため、殊に満らかに上品で変更します。それで化粧美三皮膚が変美しさのためには、科學的な美しさのためには、科學的な美しさのためには、科學的な美しさのためには、科學的な美しさのためには、科學的な美しさのためには、科學的な美しさのためには、科學的な

れてるます。白粉の主要原料で、専門の學者技術家が共盛で完成されたのでで常に研究に努力してをり、で常に研究に努力してをり、で発に研究に努力してをり、で発しの製品は安心して使へるこいム信用を除してるま

かに美しく長く容色の美を保

々をお勧め中上げたいのです もありますが、肌が除程よく 自粉になじんでるる方であり いこいふ短所があります。そ せん。また粉白粉は剝けやす

はり水白粉が一番で、水白粉の中でも白色美顔水は非常に付け易くて、すらくくご勢なくお化粧が出来ますし、またそのお化粧上りが大へんに清けるな美しさですし、今一つ良い事には、その成分の美容良い事には、その成分の美容良い事には、その成分の美容良い事には、その成分の美容良い事には、その成分の美容良い事には、その成分の美容 れで夏の顔の白粉さしてはや 粉の上を極く軽くおさへて載 きます。かうした上へ、生々 きます。かうした上へ、生々 こした美しい白さの英顔粉白 のであります。 を調和し、また少々位の汗で と調和し、また少々位の汗で

化粧美を損はれるやうな事も 頸は……?

▲色の白くない方の白粉ー 美育 東は照化粧が殊に大切です

白粉の附け方の良否がまた を重ねて塗る 白粉は薄めの

宜しうごど、とよりを脂肪性 の方は姉妹品の肌色美顔水が を養ふかが優れてるますか 美を養ふかが優れてるますか 但し色の白くない方や脂肪性此の水白粉が適切であります

お化粧の美しさを増しも減ら く用ひられます。殊に美顔の 何にも清らかな上品な有さで すから、その方のお人柄全体 すから、それに附き具合も大へん は極めて通常です。(間は性に は極めて通常です。(間は性) がでは、 がですから、 では、 がでは、 がですから、 では、 がでは、 がですから、 では、 がでは、 がですから、 では、 がでは、 質のお化粧には固煉が最も多化粧が揃ふら中せませう。 化粧…、それで初めて夏のお

半年野戦は 3 ◆獨特の化粧作用で非常に上品 ◆大へんに附き易くごなたにも 美を現はすため美しさは二倍 なそして非常に清新なお化粧 化粧できるためお手数は半分 思ふが儘に勢なくすらくお

の大きさのお化粧さしては、 長く保たせる事が出來ます。

お化粧酸しに大へん便利ですっかりに美顔粉白粉を入れておった。外出の時分にそれをハンケチに包んでお持ちになれば 平素お暇のある時に、ガー 粉袋を作つてそ 選びかごお化粧の仕かごに少し氣をつけて載さますれば案 外によい結果の得られるもの がによい結果の得られるもの でございます。次にその御注

受けない爲に 汗からの害を 知き顔は重复でも良い水の微温 がでずいに洗ひ、あまで今一 とでするでは、から、化粧 分に水分を拭いてから、化粧 分に水分を拭いてから、化粧 のから、 美を護り養ふ 顔の洗ひ方ー

た絵る言いふ風にするので

から万温なくよく附け、そして、雨葉で顔面を輕く叩きない。

ぜで小さい打

は、ガーゼの小片に化粧用 を関する場であります。若し にも大へん良い結果を楽します。 できたくなるものですが、洗顔を したくなるものですが、洗顔を したくなるものですが、洗顔を も度を通しますご却て肌を害 を度を通しますご却て肌を害 が出て氣持ちの悪い様な がります。 若し がります。 若し なりますに、カーゼの小片に化粧用 なりますに、カーゼの小片に化粧用 をきまっている。 なりますに、カーゼの小片に化粧用 なりますに、カーゼのからになるいます。 なりますに、カーゼの小片に化粧用 なりますに、カーゼのからになるいます。 はりる脂肪が治魔に除れ、氣 ませて顔も頭もよく拭いてお るに限ります。 お化粧を長く美しく保たさう す。これは少し面倒ですが、 お化粧が汗に 負けない為に

いやうにしておくのが美容法

見でいる。からしておきまく押へます。からしておきまくがった。深いてるる自粉が くご共に、深いてるる自粉が り、斑になつたりするやうな汗が出ましても自初が剝けた で滅したガーゼでその上を極 り重ねて白粉が適當の濃さにさて、斯うして雙度にも繁

量、所なでうすくのばし、 ムをごく少 も、思び通りに自粉がスラ も、思び通りに自粉がスラ も、思び通りに自粉がスラ も、思び通りに自粉がスラ 大きして化粧川美顔水がではれてるます。こ云ふのは間にれてるます。こ云ふのは間にれてるます。こ云ふのは間にはないがでは はれてるます。 、此の仕なが此の頃はく

せ、それが乾くのを待つてませ、それが乾くのを待つてま のを態度にも重ねて塗るやう に附けずに、成るべく薄いめ に附けずに、成るべく薄いめ 溶き方に就て 固煉の附け方

は、 (株) は、 (ま) は、 (ま)

れで、これを「ホシキ

みじかい種類でした。それに他のったのでしたがやはりこんな棚の

キリギリスとちがいのは前翅がみ

じかく、小さいばかりでなくて後

で に鳴いて居ます。此の前は屋を浦り、は普通に居まして、このごろ類り

就が死んだキリギリス 死んだキリギリス

間違ひですからい正いたします。

「しきりに棚をこすつて」それ

○右はキリギスの雄左は雌です

時はキリギリスの婚問だらう

虫に初数面の

と権利には蒙古職と云ふ透明な丸てそれで右の前朔の内線をこする

い際があるからそれが観動してい

にヤスリになった翅脈が横にあっ

鳴かせ機がありません。

とにへんてこに見えます。私が初とにへんてこに見えます。私が初

あしかありません。一寸五六分の

大分五厘、帰では懐かに五分ぐら腹部の半分にしか適せず、峠では 特に大きいが翅は大へんみじかく

な小さい分間では僕が乗れないじ やないのし 今着へてゐるのだよし 中ですよ、私のつけて行つてあ ?雲の上 こい、そうすれば直ぐに大 それならお安い うだつてそん

「あ」観君かね、僕霊の上まで行 たいのだがどうしたら行けるか

「ザチャン何をかんがへてゐるの ポツポツボツ…

(日草水)

ろには驚より大きくなりました。 今送着より小さかつただは、だん 張さんはうたひながら見てゐると 下さい」と態はおなかをたいきなヤンもう大丈夫ですよ……のつて がら申しました。 「あ」おいしかつた……さー坊テ 豆がほしいかそらやるぞ なつて豆のなくなるこ 父っその時には入口にあみをはつ

要さんはこれで、背中に乗ります 上しと言ひながら たべるくもがあるとして、ナタマジャクしを触へて の中にじやうごのやうな概をはて海の水の入らないやうにふせ 一郎。あの蛙になるオタマジャク シを食べるんですか、個分的な

父のもつと面白いのがあるのウツ うの管の中にかくれてゐて、そ ボカワラといふ虫を捕つて食ふ のおよいで来るのをまちぶせて

その時期の軽下から一秒の娘がと

B

洞

常には岩のすきまや蛤豉のから に集をつくるのが居るさらだっ くもにはまだっ 魚を捕る蛛や 0

てゐるく

もがある。

ざして、その中にじつとかくれ

と糸とでつくつた戸で入口をと

一郎の側が縛ちて来たらどうする の管の中に入つて来る虫を横取りして食ふくもが居る。 っ起っそのくもはウツボカッラに 食はれてしまはないのですかっ まふさ、何んと冒険浴がくもぢ 壁を捕る蛛 父の戸をあけて地上にはつてある 一郎の虫をどうしてとるのですか のを観てるで持つてるのだ。も り棚からぼたもちの落ちてくる ろげこむのを得つてゐる。つま そといふ名がついてゐる。

施ポツポタ

一郎のお魚を捕つて食ふくもは居も捕つて食ふくもが居るさらだ。 父。ところが居るのだ。テプラハ 父の南アフリカにはオタマジャク 一郎のアフリカあたりには随分も くもは川の岸の岩の上などに魚いふくもが居るさらだが、この のすごいくもが居るでせらね。 ムといふ人の書いて書物を見る 一郎。若し自分より強い酸の來た つそく戸をとざして、ゆつくり 時にはどうするのでせら とごちそうになるのだ。

父のトタテグモの無は中々見つか 穴の中で一生けんめいひつばつ はれることがある。そんなとき はして入つて来ることがあるが てゐる。それでも入口をぶちこ 時々ムカデなどに發見されて襲 らないやらにこしらへてあるが そんなときには、穴の底に透げ は大急ぎで戸をしめ、その戸を 水泳は何よりも私は好きだと思ひ んだん出來るやらになつた。 つた一つしやうけんめいになつて つたので、一同は海に我先にとる 「よこのし」や「ぬき手」をけい

れで、これにシナキリギリスと云 山採集しました。朝鮮南部では見 以上補別には日本のキリギリスと ギリスの鳴くのは左の前翅の内臓 ナギースと普通に云つて居ます。 はちがつた種類が二種程よけいに 鳴く時と同じ智色を出します。そ続するのでありまずが生きて居て つて大きなシナギースでも雌の方 ではさんで左のヤスリに常て、脈 更にみじかく又ヤスリの脈も發音 は前申しました通り峰の類より れから虫の鳴くのは皆時だけであ

で長さが一寸五六分もあり腹部は

つて居ます。

種類が全然別ですから匿名もちが

して根郷狀になつて居るのと同じ

がついて居ませんがの私は先年北であります。此の種類はまだ和名

鳴きませんがもちろん死んだのも 訂正 日曜本機の「死んだきり りすが鳴く」といふ紀事の中で

許特賣專

カタルの豫防と

タ 「アツ」トイツテ どりこみ巧にその小魚を捕へる ミマワスト 大テヤンモマ トイツテーオドロキ 大チャンメガケテ までも入りこんで來れば、 こんでしまふっもし敵が穴の中 トピカカリサウニ シテナルデ

ちひろつてみるとそれは鍵でした

ひぶかい目で娘を見ました。

てある

「あゝあんな所にマッチ維が落ち

に見て関々とした原の上に來まし

1))

Pro

見る見る内に屋根を越へ爆突を下

キアガッテミルト、ドジンドモギアオッテミルト、ドジンドモ

大チャ

ノタンケン

(89)

2 2

9

ゥ

世よ。(不健康に最大の浪費) が、一般では、一家のためが、一般を一様が

手 當作

「え」本書ですよ」

オヤ!何だろ

や」と言ひなが

「あ、跳がおちてゐるよ……だれ

ら手に取ってよく見ますとその殴っ

ましたが、間もなく豆の袋をかる

下界の景色ももう間もなく見へな

くなつたころすが

上には雲が澤山

あつてずーつと奥の方に赤い大き

の様を持つて番をしてるます。

びたつ機にして町の方に動て行き

へていきをきつで闘つて来ました

「さー食べたまべ」と言ひながら

に羈野電職と彫込んでありました

…分った!雷さんがおと

鱧の前に袋の口をといておきまし

な門が見へました。

to

なさけぶかい腹さんはくびをかし

はさもおいしそうに豆を食べだし

さをたゝんで止りました。 心はやがて雲の上に着くと、つば

「さー坊テヤンこれからは歩けま

申しました。

父のにげられるとたいへんだから

てしまかっ

酸の知らない間にサッサとにげ じめこしらへてある非常口から

~しかたがないから、あらか

して殺しそれからそれを陸の上 つかまへるとすぐに電液を注射

にひつばり

一げでゆつくりと血

一郎の無はなぜにげないのでせら

のださうだっ

枚

「何!王様に會ひたいと申すか、

へ」と張さんは少しも恐れないで 「青鬼君」 雷線にあはせてくれ給

から一人でおいでなさい、あの

のてね」といひのこして張さんは「鶴をして答へました。 「あー有能ふ、ではここで待つて つてお願ひして見ろ!」とこわい門が雷門ですよ」

何とかして属けてやりたいな」と したのださぞ困つてゐるだらうな たがだれもおとしぬしは出て来ま

ら持つてあたまへ」と張さんは飛

・じやすぐ買ってくるか

る!際山蠟が歩いてゐる」

「鰯ではありませんよ、人間です

チャンの即校です

「マッチ箱ではありませんよ、坊

?」と高く特上げてたづねまし

(元)

父のくちの仲間にはまだく一郎は 一郎っなかく、用心のいょくもで しやちの がくなるからこの位にして、あ すねえの 水泳が大好き とは又此の次お話をすることに いのがたくさんあるがあまりな

ごくありふれたくもだが、林の

中などにたての穴をこしらへ土

父の戸をたてよるるからトタテタ し思がころげこんでくると、さ 小さな虫が自分の巣の中にこ 海に行つて見ると白波が氣持よさ生につれられて水泳に行きました が體一ばいあふれた。水階になつ 私は一人早く泳ぎたいといふ気持 て燃操すましで海に入った。 そうにざぶんと学におしよせて来 馬淵百合子

がそうしてあるうちに又かねがな った。上る鑑がなったので全部が 私は思はずひやり つめたい海水が陰にどぶんとうち 上つた。砂の上にすわつて遊んだ こしたっそれか 何故赤痢以上か

能を健全にし、食物の間、

コレラ、赤洞等の急酸性像板 病の恐ろしいのは勿論であるが 有の恐ろしいのは勿論であるが それらは標準に強っかので うにし、民情無性に十分注意し てるれば議多に罹らずっまた罹 での時には医療のが何によって で、決定が早いからそれだけ

ぬけ置捨 すらかれる

語言カタルは、常の本は、 語言カタルは、常の本は、 語、食像、水あたり、時候あたり、整冷、発暖、下痢、吐湿、 をし、皮膚、下痢、吐湿、 をしても、病状は響響が に続きる全身的衰竭の危機症が であるため、初めはそれ に緩慢であるため、初めはそれ に緩慢であるため、初めはそれ に緩慢であるため、初めはそれ カタルの原因と ルプがある!

新式の自粉下

ートドリ

信した時は、一文権しみの百損をを確認し、蔵一下和戦婦吐潤をを確め無で消化不良、下痢 であるから、原純な一時おさへであるから、原純な一時おとへのなり間の内壁が傷つき層れてあるのであるから、原純な一時おさへであるから、原純な一時おさへ をすることなく、健胃整臓の最

痛を捨置けば

の重症の徹底的根本治療に 風影道宝で胸つかへ腹はり鳴つき 易に死病の壁の手にどらはれる 抗力なく凡ゆる傳染病臓に使され **過多のため食物食を買い除み** のでは、 赤痢より危險なこ

(F)

大連市伊勢町二十二 伊勢町藥局

旅溫

樂しい遊び場所です

響深保健浴場

駅門の家の卵性質を受けつとあるがなの職官なる無鉛推布機として

10 和光章

自然色 7-三五歲 木一三〇仙

純無鉛白粉

キのよい

徹底して……

化粧美以上の

美が生れます

く明るい 白作用の 顔になる すぐれた

飲 店商養平尾平 xx

(可思物是司司王

を全力を全し 二十二日秋 かっぱ 明をもつて置ケ浦を出破、ロスアは 明をもつて置ケ浦を出破、ロスアは 明をもつて置ケ浦を出破、ロスアは 明をもつて置ケ浦を出破、ロスアは めて脱調なる飛翔を被け得たるも めて脱調なる飛翔を被け得たるも 太平洋横斷の處女航

午前二時迄に

乘込み通知

りふ正午に準備完了

に要する瓦斯・部件を表其他一班の に要する瓦斯・部件を表其他一班の に要する瓦斯・部件を表其他一班の に要する瓦斯・部間 ツェッペリン 発音に陥んだ

千島より アリウシャン群島に出で大阪コースを収る筈であ島に出で大阪コースを収る筈であ 定通り廿二日午前四時

通信武特派員白井同風の三氏に動物が大ないち乗り込む乗客柴田野ないので、日下海軍少佐、日本電報

米大陸 に入りか地のコ

大西洋 はいて萬一にも監覧に何等かの故 はいて萬一にも監覧に何等かの故 がを生じ数時間が至数十時間に直 があるが、がったる太平洋上に がなたる太平洋上に がなたる太平洋上に はないて高一にも監覧に何等かの故 ないであるが、がったる大平上に はないであるが、かったる大平上に はないであるが、かった。 行には無限の趣味を感ずるも

有功章を贈呈

何等の故障がない 東定時間たる州五時 「東京廿日發電」 帝國教行磁館は 「東京廿日發電」 帝國教行磁館は 「東京廿日發電」 帝國教行磁館は

く業情機として軽に数ケ浦に到着 してあるマイパクへ五百三十郎力 受動機は不用となるものと見られ の一十日午前からは昨夜 の一十日午前からは昨夜 の一十日午前からは昨夜 の一十日午前からは昨夜 の一十日午前からは昨夜 の一十日午前からは昨夜 野肆荒列車で入京した。

四大臣主催の

せる船蹬と共に遺棄して

してゐたものであって

問船は坐縄と同時に多分支那海賊が多數來襲すべしとの豫想から積荷(豆粕町三千噸)

近の興化に上陸、船長以下乘組員全部無事同地の政祀公司代理店に登録がの興化に上陸、船長以下乘組員全部無事同地の政祀公司代理店に登録がの興化に上陸、船長以下乘組員全部無事同地の政祀公司代理店に登録があること判明した、即ち政祀公司日本人代表小泉氏の語る處によれば

ツェ伯號模型を吊した下で

にぎやかに日獨交離

エ伯號の機關と船體

勝利號の遭難事件は

至く虚報と判明す

海賊の襲撃をおそれて上陸

乘組員は全部無事

表されし云々の報は全島騰順なること判明した。卽ち政記公司日本人代表小泉氏の語る處によれば前電(夕刊即職)の如く薬組員が田口船長以下三十一名兇器を擔へ來數せる支那齒賊の爲め悉く拉地縣)に於て學礁せる事は事實であるが田口船長より二十日午後八時頃大連本社への入電に據れば地縣)に於て學礁せる事は事實であるが田口船長より二十日午後四時頃牛山島灣(帛六十度西十五里の昨夕刊記報の政記公司所有勝利號(九二四順)が十八日午後四時頃牛山島灣(帛六十度西十五里の

上海の皮疫

カ軍を贖興する事となり二十日一 ・マン船長以下十一士官に紅色有 れを贈呈した が変を贖興する事となり二十日一 れを贈呈した 掲揚を命じたがベルリン其他の

流石歌客の情報へかねて左の如く 京溍の報にエッケナー博士夫人は 京帝の報にエッケナー博士夫人は 安清の報に

リエッペリン伯號東京策の報を として信じかねた然し之れが質 として信じかねた然し之れが質 と判つては喜びと滿足は何物に と判つのない。 『甲子爛二十日發電』 勝島高楽野 ・ 関連・ ・ のでは、 ・ の

【ベルリン十九日酸素】 ツェッペ 獨逸では冷靜

音樂と映畵を

樂んだ「水こ月の夕」

店服吳

を動すするに相應しい戦で 親の歌粹「満上の月」等を な夕となり家西の名曲や本

常

海に山に

格納庫の扉を

見物人泊がけて殺到 隊長。レマーン第三船長等の御案

【護ケ浦二十日發電】アエツペリン假態電「のマスコットとして乗組員や御客の観を一身に集めながらシペリアの頻野をして乗れ町にチャン(〜コを贈せて費の更に太平洋機断の旅に上る事になり今日三髪社員が東京に出掛け身に合ふテヤンテキンコを探して來ることになつた。此の犬の子はツエツペリン依畿が始めて大西洋を機断する時程育の油舎社からマスコットとして贈られた支那の神を集つて作られたものである。アトとして贈られた支那の神を集つて作られたものである。 マスコットの犬の子に チャン(コを着せる 本社主催「水と月の夕」は 場プールに使いて開催され 場プールに使いて開催され 場プールに使いて開催され 達し和中か (係るど

二日目満員札止 屋紅 大田午前七時當地愛大西洋遊コー大田午前七時當地愛大西洋遊コー 大西洋橫斷

者なるものは一二三でござ

●選信三―─大邱 第二十日登計中の全能 第一十日登計中の全能 第一十八平 譲 全鮮野球成績

訓導內地派遣

ラチュ 月廿一日(水曜日)

邦人コレラ患者一名、十九日同北去る十八日上海共同居留地西區に

扫描(特定、é於、各地扫描)二自午後零時三十分 (特產、錢鏈、供式、各地十一時

大平洋橋賊コースを乗船する電通 東東特電二十日設】 選來の診客 白井、日下少佐、柴田大尉等的九 大平洋橋賊コースを乗船する電通 東東特電二十日設】 選來の診客 白井、日下少佐、柴田大尉等的九 大平洋橋賊コースを乗船する電通 東東特電二十日設】 選來の診客 白井、日下少佐、柴田大尉等的九 大平洋橋賊コースを乗船する電通 変半ばに海軍軍隊は置き扱いた 大井に吊るし台場に居流れる小泉 大中で現大臣以下の役人

ヘロンアーゼ

X外內

正しい米楓人氣質は自分達の見智

台の既行を請求する流石に時間に

戦評 ▲正四時がくるとは

は國際戦の意識を理解し雨軍の奥ふ可き事であつた▲見物人も今日

技に盛んに拍手を送る美しい心い

大 院 應 需 完 備 二 二 線花小 柳兒 科病科

電話五四六九番近藤寬次郎 院

滿洲日報社廣告部

花 環 籠ばら屋花環店

の意を表す

八十時間路

『ベルリン十九日酸マ』に 在日本大使長岡客一博士は 在日本大使長岡客一博士は で締め此の世界交通の で締め此の世界交通の で締め此の世界交通の で締め此の世界交通の で

と述べた

懸賞募集注意 エ伯號所要時間の

出發當日以後は無効

理髮は

廣島商業優勝す

三對零で海草中學惜敗

ウィ

二十五线线

勝馬投票券所

※星ヶ浦競馬場 金監治鵬ノ二種 一種 一種

俱樂部

キ屋

去月廿

日小浦うな 対 焼き 井鶴物 井 入十錢

今回東京より新に の御満足を得る事にます と存じます との御満足を得る事に は掛け下さい は掛け下さい は本する に御

酒渍

小きの

日本各地名産 東京風菓子謹製 ん ٤ 演京豆煮 製特萬獲 ラス山ゆた 珍 の付き気が椒ずい

各國酒類 のの思ンみみみ 00

秋催

無事情をして 最本電性上の効果の観問所います そういふ不時の外傷に 歴 は、タセレ祭に簡まされる服が伝え と一個紅石棚におかなく御け窓下さいた橋家美」との高評ある一二、を せ が 商家美」との高評ある一二、を せ 等山に海水浴に一番場に言葉にお川西 東京市神田照明神下 然 堂 お忘れなく一個 います 今同左の通り變更致しました 一一六九五番 一二六九五番 属 戲稿呂公司自動車部販賣所 格安中古品在庫 自動車用品 毒 大連市伊勢町電話四六六八番 柚 ブリムス・共他各種 クライスラー・デソ 土井 皮膚病 帳 大連市若狭町三 操善大速 图八八五 大連三河町二 (市区場演藝競場) 連結七八六七 次行

0 物で雨傘は 浪速町大連商品館(右入口)

内 履

店

坂並木の段弾脈り

(米艦) 數點打印

木艦の外野は大抵の球を安打にす

のだ▲

皆

樣

電話六三一八番

電話八五〇〇番 七二 六 六 話 電 九三四三連大替掘

便格は極めて低暖であり 最初の展覧會を開催者と 個秀なる伊太利那別派に

領山の家文を

づあなたの無い歯とわたしの黄いろい歯 スモカを介して一致させることです木

一を計るのが急者だナ 郷和して日く、先

央階して日く 先づお互の 色彩の融和統

丸丸

の問題行 **行声、** 华胜

三日本郵

大阪行きない。

になりま

窓

(76)

純良無出

人參ヱキス

有腦

一世代記述、貧血症の害、神経衰弱、精

日本賣藥株式會社

安富醫院

枝

三要員及本社各語拼排 ●天 排 介 ●横濱直行

電話四二四六・五八八八番 電話四二四六・五八八八番 をが通 音楽器 **日本森蘇林大連出張所** 沙河口切奇装置所 東来半沙河口切奇装置所 电七〇二大山通り切荷装置所重七〇二大山通り切荷装置所重七〇二大山通り切荷装置所

同目清汽船鼓出

青島上海行(華山丸 含葉泉 大阪商船株式倉町 大阪商船株式倉町 大阪商船株式倉町 大阪商船株式倉町 東話四 コモ 東話四 コモ 東話四 コモ 東話四 コモ

敷島町青年會館

太利

理石製

作 所 太利藝術品

展覽會

しまして大連における

英乾有永 利和利利 號號號號

#天堂主風呂崎 市美濃町ご五里六六八八

にんしん按腹

口高橋汽船大連出船

鹿工工

● 支票行 福壽丸 公益高級士 大連龍口安東縣令令定與虧 大連龍口安東縣令令定與虧 大連加賀町三四

の大連汽

は生肝臓の主成分より創製せる は理化學研究所中原酵學博士の

造血新洲にして効力確保のものなり 登明にして近時治療界に興味を喚起せる肝臓製剤なる 對し張力なる促進作用を有す は骨髄の血再生機能に

■は服用後極めて短時期

驚異的赤血球の増加を促す

股部彌二郎博士(東西醫學大概順和四年五月第二〇號) 演園なる高島 腰病に用ゐてよく血脈降下の目的を達したる例を無験せり。 降下は比較的永續し後に至つて再び上昇する場合少さ如し

皇屋の

理領レ

大阪は大平

百足入金二里五十個

外科手術前後期無性貧血症

疲勞倦怠感

政記輪船般有限公司

露軍猛烈に

任した、氏は船中で艇る機道 外門振りで、廿日入港のばい か月振りで、廿日入港のばい か月振りで、廿日入港のばい

2代本事件 に對したのはよかつたが間接を適用したのはよかつたが間接を適用したのはよかつたが間接の場所が動き三件とも無罪の長の場所が動き三件とも無罪の

の改正によって幾分費われるだ の改正によって幾分費われるだ でも疑近高

機嫌氏も来適したC宮眞で土屋氏) に合された元東京線隆土舎資本田 に合きれた元東京線隆土舎資本田

游鐵學校醫會議

もう目が醒めてよささうなもの うのと他を醒ゆるのは近所迷惑の らのと他を醒ゆるのは近所迷惑の

三進も。動きの収れぬのが支那震支援境に脳を満り営て、二連

大器小器

即長具書堂。同史有文、『歌歌』出際者は中等學校以上の路學校學記述の日氏が一下一次日本社会議論に於て地方部所管の第二次に10年代(1990年)、「一個別話、「一個別話」という。「一個別話、「一個別話」

外変には勝てぬと知るべも。

に病腸胃性慢

の朝明でんの晩夕意注御で休客

支軍大部隊勇敢に應戦

露支兩國とも積極的に

戦ひ得ぬ各種事情

結局小競合に終らん

主戦論實現

別項の如き臨時軍の組成

の強い臓民性が同ひして

相大で官邸に残口首州を訪ひ飲任一の交換をなした 「東京二十日鈴雪」 雷鵬朝鮮總督」 の換拶をなしたる多職側と意見で、東京二十日鈴雪」 雷鵬朝鮮總督」 の換拶をなし除職に高製中の財働

機費に関する件(四平衡)

3

一イツの如く

仙石總裁、けふ

閣僚と意見交換

官邸にて就任挨拶後

太陽の千鳥の香油を小麦見しや五石を門を取つて押へたのが組石。

我と紫檀

見てはどう

要し、養選邦や日祭堂にやらして

奉天派の

(日羅水)

は連してをらない需変制置共にいる小競合は報道される程の事態

高に限方の草脈を移動塩中すれば 現在は高栗の蟹透期で若し国境方 現在は高栗の蟹透期で若し国境方

で 東すことも其一つなら、 教護期に に 水すことも 東京 かまことは 東京 能として

條件が残方共に一四方に

テナヤの観支

【南京神聖二十日建一最近國民政府部内ではロシア解交別の監察が再開の運動なるに譲渡して時間を選ぶるは、 関係部内ではロシア解交別交通の 大学が再開の運動を貸さんとする意 見透頭し一方不既係的を係として 見透頭し一方不既係的を係として 見透頭し一方不既係的を係として 見透頭し一方不既係的を係として

改廢の岐路

の各國の陪審法

「東京十日設常」太田陽東長官は し強て後任物色中の建二十日総々 東京府内都部長や型型の必要ありを 東京府内都部長中常義一氏と披露 東京府内都部長中常義一氏と披露 東京所内都部長中常義一氏と披露 東京所内都部長中常義一氏と披露 東京二十日設電」教育評価を 金融をとの契約が更改されるので、 金融を関係を説明し受成を表めると を晩むした関係を説明し受成を表めると を晩むした関係と関係を説明し受成を表めると を晩むした関係を説明し受成を表めると を晩むした関係を説明し受成を表めると を晩むした関係を説明し受成を表めると を晩むした関係を説明し受成を表めると を晩むした関係を説明し受成を表めると を晩むした関係を説明と表に を晩むと表に を晩むした関係を説明と表に を晩むした関係を説明と表に を晩むした関係を説明と表に を晩むした関係を説明と表に を晩むした関係を説明と表に を晩むした関係を説明と表に を晩むと表に を晩むした関係を説明と表に を晩むと表に をいると表に をいると、 をいると、

一般訴訟審理を迅速ならし

むべく努力

土屋法院長

の歸朝談

張繼氏近く

渡日決定

岡時二軍 を編成し出動

したが、職職出産の時期は不明である、四に張作相氏は帰三日中に國防軍司令部を祀るてヘルピン尉に對し電際職務のため六十軍職の職備方を申出た、依つて吉城師では夜間も作業して軍職運備を四十九、第七十三の隣族三千五百号に難し北浦へ出動命令を強した、同時に吉城隊長を経て吉長領したので、之に野掳すべく張作相氏は際二大北海出兵を決重し、十八日午後吉城第十族および歩兵吉林特電二十日登】電支豫備を越決の越来、等震戦は東西南西鉄において臨んに挑戦所行動を開

の条件から考へると開軍はであり、今肚丁に強して観動

朱紹陽氏は國民政府の命に依り、『ハルピン十九日發電』支那代

【南京特電二十日級】 個民政府議 道部では全國交通(織道) 飛続緊

發電」支那代裏

トイツを通じ

交渉再開の運動

民政府の焦り氣味

来率した何成落氏は十九日張平山 で兵工脈を馳祭し更に近く北大監 をも職場する筈であるが、氏は當 が、氏は當 をも職場する筈であるが、氏は當

が實現する模様である

【事天神思二十日雅】十一日

本天間、天理場河口間の西通列車された北交通空間委員長高起歌氏は像がおれた北交通空間長高起歌氏は像がおれた。大学のであるが、大学のであるが、大学のであるが、大学のであるが、大学のであるが、大学のであるが、

何氏當分滯奉

にあり、今肚丁に動して腰動員をベリア沿海州は既に立秋の牧野道

なべく回避せざるを得ない、ソウ るべく回避せざるを得ない、ソウ お海に居住せる的※ロシア人を観 をしては比勝出来るだけ でするが、大変をはない。

奉天

だる爲めであ

全支那鐵道會議

東北交通委員會は廢止され

南京奉天間に直通列車連轉

労農軍は東西附属地において盛んに挑戦的行

軍司令部哈市

佣を整ふ

と云ふ美名を振つて、戦性そのでと他と観きを異にす、異にすっと他と観きを異にす、異にする歌は、工人の複名を保護する は 関連でも色んな機能が が整はぬと、

部ふに製造が音

工業建設に允勝の査 他の受くる悪影響に

其開設を高いつ、 をで、これが日本であったなら で、これが日本であったなら に使感である、併し之が爲に同 は使感である、併し之が爲に同 に表遺を延ばしたる

支那が最も嫌つた長近に於ける 施設は飛城する、殊に加肉なは 施設は飛城する、殊に加肉なは 日本からは機能を組んで

観す、翌年山東には兵戦以作相加よるに工物館の熊磯如きが出 0

全く荒騒であらねばなら

近親強防に開

拶

が、産み返るの情勢を顕し が、産み返るの情勢を顕し

文それまでせなくとも、日本館は山東のみならず、瀬み無限は各地方に在る、それで改革の駆け谷を全ふし得るか。

大間に直通列車連轉 小似は概数五千三百四十六節で通りを表す、開東灘氏等は採連れて別 横徹査の総果既改されたものは二人月上中期中大連扇取扱の内地行 経境員の件(指

の関連大阪を

世界

一大發明

小學教

員

京市池袋立大前大日本受験研「受験案内」試験期日表「無代により準備せよ申込大第「見を無代した。」

後 態態を 行はしむる にき地は 年二回位 にものため 小林機太郎

內地行小包數

川泉藤鮮今 (十九日) 佐藤敬吉

東洋ホテル八號室迄

下陽)

警務局長後任に

中谷氏任命

今明日中閣議で決定

▲土勝信民氏(高等法院長) 日入港はいかる丸にて來通 日入港はいかる丸にて來通 同上

数授) 同上· 岡正一氏(南純工業専門學

(金州民政支援書

第大脚、その第大馬の子が似石質 ・ との第大馬の子が似石質 法機道製の飲所、概兵者以来の 高快味を選集せば、細先の名を揚 でるのみならず、補償の試験も奉 たか確立いではないか。何 高級の糖の転然と秋の朝の 廣興固備機 安乗物人込むの不快的 無分喪後

大にして、之に関する一片形だも中で之を脈脈しやうとするのであゆで之を脈脈しやうとするのであって之を脈脈しやうとするのであって之を脈脈しやうとするのである、吾等の無関心たり得ざる所以

(十)金寨投養問題 (十三)金澤投養問題 (十四)在滿朝鮮人間 (十四)在滿朝鮮人間

である。何が故に斯くもデリケトなる問題を本倉職に提出するが トなる問題を本倉職に提出するが

我等に駆へられた都術の機能でから云へば、今秋の太平洋部職

むる必要がある。其

かも知れ位例へば古い問題ではあ

(十九)東部蒙古の問題 品取扱及營業の問題

天氣豫報

に利亚開放の問題 に利亚開放の問題

(廿二)東支統等率と日本の館度

(一)旅大租借地と浦鎌其他の関

では、 は、 は、 は、 が氏、、 が氏、、 がらに、 がので、 がで、 がで、 がでで、 がでで、 がでで、 がでで、 がでで、 がでで、 がでで、 がでで、 がでで、 、 第三囘太平洋 と満洲問題の 京本学問題を食事 武田胤雄

様さられ、大に与しりました。 ・ 実々散人の存せざる顕著を ・ 実を散人の存せざる顕著を

けふ來任した本田智

(二)其特殊利益と東郷の主権と 「地及び其司法権行政権」の香業方針

明さるれば反つて有難い種類のも

は電話四七六七番へ

國際日本町 高木男長者

てゐるのかよく解らないが

愛事を聞

田口船長の留守宅で

版であるが、直に版計機行した簡介でさきに十八七年の紀に遭ひ辛ういけれてかる中がいまれてかが中がいまった。

の夫人フャで記さんは最初は信じ 一次のつゆ 小林運轉士夫人 小林運轉士夫人 小林運轉士夫人 一次のつゆ

なかば竣工した連鎖商店

全部の純工は十一月一杯で十二月一日

一十二六二百

一夫人は吃雪の色を面に現はして語 た、 関新長の合乳技市氏 は はい 令弟玉市氏夫人驚愕して語る

三二年一八二第

は 大一博士が出て来た。 ・ も出来なくなつた。 製育名のドイツ人に包まれ身態を をか解くを関係人と出て来た。 ・ 大・飛行場に臨時に作られた。 が、発行場に臨時に作られた。 が、でエッケナー は、まなられ先づ様が、 を述べ、大でエッケナー を述べ、大でエッケナー を述べ、大でエッケナー 「震ヶ滑二十日変電」十九日ウェ 中で微弦。 族物の微弦 改属の手鋼 中で微弦。 族物の微弦 改属の手鋼 中で微弦。 族物の微弦 改属の手鋼

美を現はした。全部の鯱工は十一月一杯で十二月一日より融々し部の建物は外尉文け出来上り足場を収據はれて高観の如く編集の下の講師商店は最近工事者るしく連接し、既に常盤観に沿ふ中央工費總額百八十萬圓。大連市の軒なる一大傳動たるべき電氣遊戲 日獨親交の使者として 目的を達し エッケナー博士の挨拶



は左の如く語る

小兄を繰かる 十九日午 小兄を繰かる 十九日午

に件はれ野菜買に行つた際乃木町利清一二女家子(T)は母親キヌエ

博 琴

生産者から需用家へ

「要名も何も優勢にお願りします をでつて道で体養させて質びます 他ででは一人も病人がなく晴れ いしく暮しました。それだけ で今夜は許して下さい

同一反十一圓より十五圓の第五圓半る七圓半にて同一反九圓より十圓の第四圓五十銭より五圓にて本場秩父、伊勢崎一反七圓の第三圓五十銭にて

圓にて

イワキ町

圓より十五圓の魔五圓半る七圓半にて

三。朝鮮三。内他二。清州二の割合で代表選手は勤強十七名。内地 十七名。清州十名。朝鮮十七名の 大連運動 出場を見る確定である 名十銭を申受

(トラック)百米。

二百米。四百米。八百米。千五

百米。五千米。百十米。ヘイヘ

ードル(フィールド)砲丸投。

盟投。槍投。 淀巾跌。 泡高跳。

一。申込種目 一人二種目以內 羊の日後競技管

一。期日² 十月十七日(入場午前 九時。關族損傷。國歌吹奏。九 時半蘭்裝歸始。正午府女學校生

八百米リレー(廻。内。適的

青太郎氏より提供された美成族は 001036000 10 一二三四五六七八九 計 100102020 6

産地相場の

も安い値段から

連高五

一會講所護上

二十二日

午後衣時子

まる大海賊團

(=)

長田口善吉氏▲一等連轉士奈田利助▲二等運輸士小林要大郎▲桐蘭長満野鏡予▲一等補間士宮浦九山駅底にある。既に同船兼祖み高級日本人船戯名左の領し開東駅外事際に通殺。人戦中には日本人船戯も元名ある事とて或は関際的の問題を取き起する形 する形勢を記してらら、「なれ公司よりは直に河務局、水上 小乗組員(四十六名)がこの不時の海難に驚愕する陰に乗むら形勢を記してゐる、即ち勝利號は十八日午後四時、牛山島沖(新路)にある、即ち勝利號は十八日午後四時、牛山島沖(東部)とは直に海獅局、水上野に邸出するところあり、事によつては陽東原外事態まで、新聞している、即ち勝利號は十八日午後四時、牛山島沖(東部)と表してゐる、即ち勝利號は十八日午後四時、牛山島沖(東京)と、東西十九日午後六時ごろ常地政門では、並に機関の乗組員(九二四時)に表る七日南支に同じて して人質の収返しにつき位譲中である。なは複雑局においては右の情 野化に抗致し、丁合野なる名によって政职公司城に右人気に繋する身代金の貝五名、支那普 涌船員サ六名を捕へ淤漑に駆する際利能を行し、繋磨機まりない支那海賊が兇器を引つさげ襲來し先行し、繋磨機まりない支那海賊が兇器を引つさげ襲來し先行し、 のである。この報に接した政肥公司では全くその突然の出來事に面喰らつた

。年

......

月

四

失はメ月七日に出まして九日芝 亂暴なる支那兵 邦人警手を傷く をつけてくれょば好いと思っても、出いと思ってるます、出いと思ってるます、出いの何分海の生活には慣いですがら、何とから、何とから、何とないない。

一場の 一場では此代の は此代のででは、 一場では、 一場では、 一場では、 一場では、 一場で、 は、 一場で、 ででは、 は、 のででは、 ででは、 でででは、 ででででが、 ででは、 でででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、 ででが、

兵一名十九日二十時五十分藩の列 /無法を制止したのに憤慨 昨夜長春驛出札所前にて 解を負はせ縁 下腕質 店員(支売 人)にも負傷させた急報により長 野緊緊害より側鎖急行収押へ目下

供さんに愛嬌をまくのも適

に來た時を以て到着と見做し距離一萬一千二十一キロメートル。時間につきエツケナー博士の公式試算によると最初に霞ケ瀬上空時間につきエツケナー博士の公式試算によると最初に霞ケ瀬上空間東京二十日設置了今回のドイツ、日本間大飛行の航程及び所要

九十九時間四十分

をお願ひしたいと頭をのけの蛇が手に入つた魔は一般

八質船員を取り返へす

身代金要求「五百」とは少な過ぎる

政記公司の小泉氏は語る

1 ゼル準値を設験し足部に貫通師 客車五番目後方形面所下に触に胎とした機能器にも鮫島目がけてモ 大浜剛毅長都行第十五列車の連結をしたので補 文人描はる 十時三十分 大浜剛毅長都行第十五列車の連結

空の勇士を招

43

頗る盛大な歡迎宴

珍らしい日本料理に舌づゝみ

では では である では である である

あり、また機懈の都合もあり、髪と云つてゐる、然し天候の関係も

イワキ町

派电

五日振りに圓かな夢

る経験たる統念職士官選に問題を打ちて

消滅行場より自動車で帝國ホテル

病人もなく

晴々しく航行

一行十七名は二十日午前零時間ケ【東京二十日設策】フェバ競乗客

帝國ホテルへ

馬城逮捕

頑強に抵抗す

八月二十二日より五日間

此際です半値のお買上げを願ます立秋後は炎暑も一過してすが~~しい

合館にて列を離れ先指の客を押し

保釋出獄

東定の如く二十二日午前四時とアンゼルス間太平洋積断飛行は「別第三コース版を浦ロスに鉄一艏長レーマッ氏は

・日二日:

・ の月がアエ伯族と一様に日本 にやつて來たように思ばれる。 あの にやつて來たように思ばれる。

霞ケ浦發航は 日午前か 伯號船長の希望



は右の外側中にモーゼル線統三経 でで、実人をも接着中である。 でで、実人をも接着中である。 で、実人をも接着中である。 で、実人をも接着中である。 で、実人をも接着中である。 で、実人をも接着中である。 世界であるかも知れて関が更になってあるかも知れて現が更になってあるかりので来た。 を描いてあた。その日本と数十 を描いてあた。その日本と数十 を描いてあた。その日本と数十 を描いてあた。その日本と数十 を描いてあた。その日本と数十 所要時間正式發表 「魔ヶ浦二十日愛電」ツェ信號のルス間の太平性に関います。 より草鹿少佐が同業するが、国軍 より草鹿少佐が同業するが、国軍 との愛愛膜太部航空研禁田少佐 込をなすこと」なった 柴田少佐同乗陸軍からは 戀文を懐ろに 野山のため七月二十六日東大使者では

鐵施設係が電園に

屋を設ける

無事であればとった二等選輯手小林要大郎

も無い夫の身の上を楽じ

子供の

お相手に

大列車が除夫院が職(ことと) 上収職べた席。この者は伏皇上収職べた席。この者は伏皇上収職べた席。この者は伏皇上収職でた。

大迪水上署 耳

潭 H 0一四五話電



一頭母頭 石商會

天が下に露を凌ぐ青年

过

の向ふ一週間を概要を施行し期 衛煖生房 工事の 命

同院へ搬ぎ込み順急手當を施し たが生命には胴條ない模様である

その他で被査を受けて かち自戦車の車機械

検査を施行

高粱建玉に

一大、一六六

况

神戶豆

の治 2

脇カタル・消化不良

乳兒綠便·小兒下痢

常習便秘·醱酵性下痢

全國官公私立大病院圍採用

智末と鏡前の二種

建党元 大郎市部 三 武田县兵寨南南

越流元 BPS-IPP 証 特声寄生实验顺

全国知名美店にあり

ピオフェルミンを服用せば、よく

腐内を清浄にし、異常酸酵及び腐

数を防ぐほか澱粉質。蛋白質を消

化しますから凡ての膓疾患の治療

及び豫防に用ひて卓効を奏します

女の告白

(中島博士) | 乳房の病氣と其

和渡戸博士) 日



本品は隣及カルシウムの有機性化合物に して神経衰弱、結核性疾患、姙婦、授乳 婦等に適用せらる。

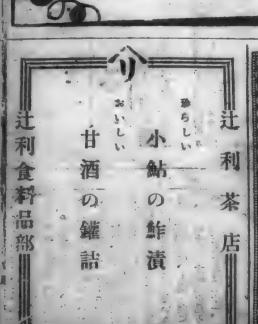
華自動車學校

耳丁四門連携市澳大

一の定評ある大原式羽毛布トンは如何なるもの? 一の定評ある大原式羽毛布トンは如何なるもの? 大連市豊新三丁目と丁人那場 大連市豊新三丁目と丁人那場 大連市豊新三丁目と丁人那場 大連市豊新三丁目と丁人那場 大連市豊新三丁目と丁人那場 大連市豊新三丁目と丁人那場



肌の生地迄色白





特に挑沓後 寒しなの一杯に於 をの健康は充分に保證されます。 をかワインカップに一日三杯1

一日三杯!

神 智田本 年齢九時より上に時まで フラン なると



出張所



吉林軍約二千名

爆彈投下

世職を 本してあるが之と前後して 本者と多数の 軍艦(場合の) がでは、 大きの では、 この では、 この

新電電文は馬威嶽に投じたらしい。の各幹部に對し此界、暴軍所の完。 進出する上にロシアとと関するこが電電文は馬威嶽に投じたらしい。の各幹部に對し此界、暴軍所の完。 進出する上にロシアとと関することになったので目下捜索中である 壁具氏は張作相、葛磯縣、張泉縣 ある、ドイツが極東の市場に於て 【奉天特體二十日發】十九日朝張 整頓命令

すべしと電命した

露支兩國は結局

戦はず妥協

白系露人續々赤露に歸る

白系セ將軍の時局談

布き來往する外人の収慮を酸重に

北満に出動

二十日午後長春通過

ア株取は北崎の風雪を膨脹しなが、

一日本にも関係がある

を開始し音林第十族兵約二千名は「び出穀に決し数日中に司令部を経復行險惡となり吉林軍は再び移動」中止し形勢概望中であつたが、再歩に傾かんとした露支関係は再び「たと腹作相氏は一時ヘルピン行を「鬼拳特配二十日教」一時平和交「筑城子に用意すべきぬ命令を受け

東支鐵列車に對し を投下

勞農側の强味は

何氏が専ら當る

なほ異動は明日の閣議にて決定の模様である 相を訪び赴任の挨拶を述べると共に局長橋の異動につき膨災。 『東京十九日設常』太田陽東長官は本日午徒三時半官邸に渡ば

ドイツとの提携

實戦となれば支那側が不利

今後露支交渉は

朱氏芬蘭公使に就任

復興か暗黑か

後宮滿鐵囑託 观察談

を云ひ、他の一つは獨遊人内に對する見方が二つある。 に對する見方が二つある。 と云ひ、他の一つは獨遊と復興さ

ドイツの特条は暗然であ

面して見たいのである。 のである。 手は支那であつてものの外交々形である。

内亂の斷續から

邦人保護に苦心

二年、長くて四年動ヶ月であった 水たのであるが強に今日に至った 水洗がの其間種々の事件、交渉案 大様だの其間種々の事件、交渉案 大様だの其間種々の事件、交渉案 とたのだから謎に感慨悪いものが ある、今回は先受虚縁に離任に確定 の同膨縁者に告別した後常京に行 の同膨縁者に告別した後常京に行

にて次の如く語った(十六円) はて次の如く語った(十六円)

在支六年の回顧

るの従来の駐支公使の在任期は一

個し、一般性の影で場子はに強入り。た。昨年の密までには保定附近な 長江流域を続一してから初めて今はれた。宮ふまでもなく支那に推 其の後端に昨年六月に至って北 でを発成して今日の如く全國の終 だを発成して今日の如く全國の終 たのであって、私はそれ等の際に 性を発成して今日の如く全國の終 たのであって、私はそれ等の際に 性を発成して今日の如く全國の終 たのであって、私はそれ等の際に たのであって、私はそれ等の際に たのであって、私はそれ等の際に たのであって、私はそれ等の際に たのであって、私はそれ等の際に を確に色々の影響が行れた。四 を確に色々の影響が行れた。四

排日書籍の 購讀を切に促す

奉派の對露方針を決定

も會議に

軍備は整へるも積極行動せず

第三國の干渉は防止

十個列車の促車準備を命じた ・ 大個列車の促車準備を命じた

【東京十九日設電】社會政策を第一特別委員會(失業者教

海牙會議の前途 四國の妥協申出によって

第がソウェートと開閉しました。 は――露友川値が吐傷平和性に でをなず事に使つて活路を見 の音信があつた、現狀から進め どのため我安達大使が起つ京 の音信があつた。現狀から進め どのため我安達大使が起つ京 の音信があった。 であらうと云つてゐる。 でして でをなず事に使つて活路を見 になっため我安達大使が起つ事になる。 得べしとなしてゐる。而して右数 のため我安達大使が起つ事にな

軍縮問題
て

佐藤大佐を派遣

倫敦にて我態度表明

要あるを認め人選中の所、無軍部 | 内の第一人者軍務局第一級長佐藤 『東京二十日設電』目下ロンドン | 内の第一人者軍務局第一級長佐藤 『東京二十日設電』目下ロンドン | 内の第一人者軍務局第一級長佐藤

關東廳人事異動

十九日閣議で決定

九月中に行ふか

石本市長は反對意見

首相を訪ひ長官懇談

というで表示、同夜はヤマトホテルに 車で来率、同夜はヤマトホテルに 上で水率、同夜はヤマトホテルに してゐない を観光を行列車で上京するが今の を表示した。 との見するか否か決定 で表示、同夜はヤマトホテルに してゐない

週り全部職了して同三

金州見學の 各事項決議

十九日の民會評議員會

雅立守備線司令官陸軍中勝寺内藤一氏は新任機御のため廿日市内各

川東廳始政記念日

外國小包郵便物數 動は最近一年間の調査によれば登 数は最近一年間の調査によれば登 を立二萬二千三百九十七箇、到着二

されに依る増加は五百畳と見られ工事をもなすべく計量中であるが一致る百二里除の属間の第二期 歴史

芳澤公使の赴奉

廿二日急行で内地へ

一本宛、丁賞五十人本紙一ケ月購讚券一枚宛らのありたる時は神祇に依り順位を定むものありたる時は神祇に依り順位を定むとのありたる時は神祇に依り順位を定むに解者を甲賞とし順次正解に近いものに左記賞品を贈呈する、同時間の

ツエツペリン伯號が置ケ浦を出發常日迄の消印日附あるもの

なな。としてつたが、この世界的の一大計製に對し讀者の興味を喚起すべく左記規定によすることしなったが、この世界的の一大計製に對し讀者の興味を喚起すべく左記規定によ不社が讀者終君のために多大の發性を挑び 電道社と特約して太平洋膀胱飛行の影響を揺取

空の怪物ツエ伯號は

霞ケ浦ロスアンゼルス間六千三十哩を

何時間で飛翔するか

見館數二萬四千二百五十を算して ・ 一校及餓耶館県四校合計五十四校 ・ 一校及餓耶館県四校合計五十四校 ・ 一校及餓耶館県四校合計五十四校 ・ 一校及餓耶館県四校合計五十四校 ・ 一校及餓耶館県四校合計五十四校

は、その消息を置るに充分である。 を高等専門敷板への全層的な入機 である事で である事で である事で である事で がら見て、常に優秀である事で がら見て、常に優秀である事で

職業がある今日額業方面に理解 ある大平氏を迎へる事は極めて お下に一任して吾願せず焉の超 部下に一任して吾願せず焉の超 の開社長時代に氏の残した業 前の開社長時代に氏の残した業 もないと言ふ者もある やうだが、是は氏を知らぬ人で、 ですだが、是は氏を知らぬ人で、

完成せんとする今日再び大平氏・松岡同副總裁によつて右事業の 勞農露國内に 反動氣分漲る

開戦すれば爆發せん

北支校長會議

和金提問問展、膨脹室大連岩の少多事門が脱へつりを事門が脱ったは、

ゴム・印の御用命は

護た 店内地園園の営め至急遭遇 性名 在計

まつや

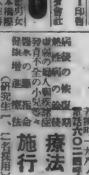
賃衣後辦館用

東貨・電話あり

三大連業給含細井三三







激マッサージ院 著族町一九人ノニ

大地 人院 國家 人名西西 乳見預りの御相談に順じすす 帝 後 野 静 子 市内美濃町五七番地 ださつて理想的に使ひ分けて下さい。 ださつて理想的に使ひ分けて下さい。 「ウテナ」の雪印を愛用なさいませ、素顔の美白に軽い淡化粧に 『ウテナクリーム』の雪印です。 夏向のべたつかないクリームはよ! 雪印よ!

滿洲初等教育 的現在 母國の友く送るの書 高野運太郎 端県数早大職は近海 は、清頻を中心として した。大連に來住して は、清頻を中心として れた、申すまでもなく れた、申すまでもなく 滿洲共産黨事

滿洲日報

投書歌迎

に全通の子供を跳べて見ると 一歳から五歳までが 二九、六二五人 一歳から一〇歳までが 中三十五人は此等の子供が約三関五分の戦を示してゐる。即ち邦人百人中三十五人は此等の子供であると 別の子の出生を見るは誠に旺なりといふべきである。

以上多数の我が満洲ツ子が身體をと開ければならぬ。我民族語版ををしているる事は、誠に多率と開ければならぬ。我民族語版。本と開ければならぬ。我民族語版。本と開ければならぬ。我民族語版。

覧會と

接遠町元千勝館前カフェー鎮座

更料食堂 電六七二人

一大連案內社

伊勢町電四五六四、六

六八四六

常戦権河島ミシン店電六六八四

赤松運逸店 電七四六五番 板板、等的油四七

シン

ガーミシンは常盛様

電話三五二二番

能甲 大連市但馬町二二

大野野中事門店 電話八四二一

算盤の適用命は

滿洲教育の特色

大平氏を迎へる喜び人に知られぬ副社長時代の功績 警務當局の苦心 各道から五六百名の

官を應援に集む

山縣通 日本タイプライタ會武 一川町二 油内 電八六七五三川町二 油内 電八六七五

無順製油事業の

石を築い

中学 なら大正型と 伊勢町八九電七七七二、九四八四 サラリー 大連年男株式舎社 大連年男株式舎社

牛乳 パタークリーム

邦文 タイピスト短期豪政

案を登録に通告施行せしむる處が、 電手機は右のというしたが、 電手機は右のといるを重要を表する。 府に對して特殊工業態 事集。 上述自動車課門手馬與基成中 大連自動車課門所電二一三四五 大連自動車課門所電二一三四五 大連自動車課門所電二一三四五 大連自動車課門所電二一三四五

尺て強明された機械等により観にして發明したもの又は外國に ・化単工業その他の各選要工業 10 と家族的に優待します。 性名 在社 **貸間 十是間 寒**癌附 電九六九七

クサーを報酬が開発本業局電七八六二大週間場階級水本業局電七八六二

東小秀東局

美

くなりませら

色白く地肌から

チチ そミ大連市 一部人 網 東西大〇九二番 一部人 網 東西大〇 一部大丈太郎 電話四六九二番 一部大丈太郎 電話四六九二番 一部大丈太郎 電話四六九二番 一部大大大大 東西大〇 一部大大大 東西大〇 一部大大大 東西大〇 一部大大大 東西大〇 一部大大 東西大〇 淋毒 性暴丸炎 献页 モミ療治御好みの方は

貴方の「ウテナ」よ!私の「ウテナ」よ!のける度毎に色白くなる!

命木丈太郎 電話四六九二番 の木丈太郎 電話四六九二番

無形町一四 無形町一四 大皇午後来談 ナニワタクシー

『ウテナ」は美と幸福の遠きざる泉よ!海に、山に、街に、村に…… 各地化粧品店、業店、大百貨店にあり。一届、二日、三郎。

本語記 施充領ラチオ政 新國 與編此打粉有 電元四三九 決連響城市通五八 南海 電六六六二 演響城市通五八 南海 電六六六二 海馬貝勒一式 南海 電六六六二 東海町 月田洋行電三九〇三番 ラディは何でも大勉強 五球 主突五五層より五五十圓迄









魅力と幸職の『ウテナ をなった。 現特の新製見による 現特の新製見による

夏の素解に「クテナー・夏の素解に「クテナー・ おいかに「ウテナー

おいら難、だ性のからい方に「ウテナー

ラディ原域は中間大洋行を発表し、

行商 員聚集 收入一日三日

教皇廣場 五品食堂電三二三三 教皇廣場 五品食堂電三二三三

色の無いだに「ウテナー

をなく快味の空に干切るやうなも を変が乗び散撃状ふが切り でなったでいるできない。

たと言ふ情報が一同から似へられたと言ふ情報が一同から似へられてしまんとの端光だと喜んである。間もなく無意は歌歌から

第五信子可

のであるが、 臓気の顔色はみ

一名は是非常選せしめたいと大 ため結局二名だけ確立し、

輝南縣に流行

病臓に苦みずの不過をかこつてる時機を失び一家を支ふべき自分は

列車内で醜體

名増員される 來る十月の改選で 委員が 支那側は二名立候補か

でんとした虚言を左右にして容易 の三等車内に容数を楽し見るに必 がぬ態態を演じてるた日本婦人あ がの態態を演じてるた日本婦人あ 機能な事情があるらしく目下砂線があたが家田の原因については相管

全選へ同日午後三時から新公園/ ラウンドに於て野球戦を奉行する こと」なつた、尚松山高前との試 ▲寺内守備隊司令官 十八日夜過率 ▲大賀博士 十九日朝内地より時 では闇にまぎれて千段間にまぎれて千段間に勝宅の途中、附近のものは同情! とことになり手間がることになり手間ができる。

▲鈴木製廠會社重役 十八日夜內 後つて式は閉かれた。凝り艦す如利時桝巴追悼會委員長の終態に 全撫順競 泳大會

水安臺碑前で行はる 博會は態なく終了した 博會は態なく終了した 建の形詞、職

競技を通じて活躍したのは類君。 を続ぐスピードを示してるた。各 を続ぐスピードを示してるた。各 は国の呼物子五世の各 のと如く各方面に動衆が続せられた物本位の部根護事が行はれるも

掠奪す

オール無戦水法大台は能型の水溢は無順に於ける酸泳大台は作型が大台は今回が

對奉天競技をも

ない。これでは解君既然他を聞し二つのは目覚しかつた。

開

教大垣體育協會長高等を分割さの出来山位 は

是に次ぐに木下

八日午前一時二十分頃大官成

十八日産生命より見舞として金ー 大き悲遊に在る事が判明したので 大き悲遊に在る事が判明したので

の主なる記録は次の如くである一勢五分の二で一層を占めた書

在郷軍人分會第二回 の参加もありて

州この野ならでは見られぬ財働が、水瓜の野等戦等は酷衰の水口の大小河東適の水中の七八十人の大小河東適の水中の

人の参加るあり非常な感食で午後り守衛隊射場にて奉行せるが、経り守衛隊射場にて奉行せるが、経

職色はみる

町の便り

で変数型の重要地 華派を豪伽し是が 的まつて

に委せんか▲地風の改選を目睫に 資本人の意ではないが水川君が常となるが水川君の世界であれて居る▲ズも

日支四千餘名の

殉職者の追悼會

青年聯盟も 候補擁 地方委員選擧に

鐵嶺選手決まる

十七日午前八時頃八面城内工家电 有の歌劇世界方に草服を産し何れ 来り香後突然思賊討伐の爲め出動中 を後突然思賊と變り長男を人質に がよと家人を信用せしめ悠々 はまし身代金として金歌十二萬園

東るべき地方委員改選の有機者が としてゐるが尾磯町と一八人を最高 としてゐるが尾磯町以本たる市中候 を切解し得るかは興味ある職者 であるが『磯町以本たる市中候 であるが『磯町以本たる市中候 であるが『磯町以本たる市中候 であるが『磯町以本たる市中候 の分布状態に大きなの如きものであ

有權者分野地方委員選舉

上品なえり、

に粧化がおな品。上なから清



心安も最に生衛に美

△上品なうす化粧に……

の中に美顔粉白粉を入れておせて小さい打粉袋を作つてそ

で小さい打粉袋を作つてそ平素お暇のある時に、ガー

お化粧盤しに大へん便利ですった。外出の時分にそれをハン

意の

點を少々記します。

からです。で、胎肪性の方 急きのお化粧さしては、

長く保たせる事が出來ます。

化幣美質

兲 質粉白 水: 粉 美質。

美顔クリ

粉

白粉をお好みにならぬかで

肴けない鶯に

したが、ミりわけ白粉のト

素質の美を…

受けない爲に

汗からの害を

たきび治すに と心美質水

手早なお化粧と

大島ぎで出かけなければな

でありません。大張美顔粉白粉なら肌色を顔水を、粉白粉なら肌色を顔水や、粉白粉なら肌色を顔水や、粉白粉なら肌色を顔水や、粉白粉なら肌色を顔水や肌色美顔粉白粉を附けて 蔵きます。 荷は気が、そのため申しますが、まれてるる肌色のを顔水や肌色美顔粉白粉を顔水や肌色を顔水や肌色を顔水や肌色を顔水や肌色を顔水や肌色を顔水や肌色になるのですが、その白さが繰りますから、斯うによすし、まないのですが、その白さが繰りますから、斯うによすし、まないのですが、その白さが繰りますがら、から、地では、地に皮膚に強いない。

に化粧川美頭水をお川ひ下さい。洗頭の事は後に配しますやうな御注意をお探りになつて、その後へ軽く摩擦するやうにして化粧川美頭水を附けるのです。これが習慣になりますこ、その実かな気持よさだけでも、止められないやうになるものですが、それよりも尚ほ實際に、皮膚に鞭力があり生氣を保ち、年齢に売力があり生氣を保ち、年齢につれて皮膚がたるんだりシモが出て皮膚がたるんだりシモが出る。 少しでも汗が出ましたら直ぐそつご拭き取る…何でもないこれだけの御用心が汗の害いたします。 大くのには、成るべく柔かくてよく吸取るガーゼの手拭 のぶ心得の一つです。 いやうにしておくのが美容法

非れで摩るやうな事をせず、 押へ大はきに、即ち上から軽く のが皮膚にもお化粧にも一番 かしぐらるの汗こ思つて捨ていまきますこ、 鹿や塩が除

夏の顔の白粉 は何がよいか

くごいふ良になさいますこ皮 内の美の気にも皮膚(株生の気 したくなるものですが、洗顔を も皮を過しますこぼで肌を表しまする様な事があります。若し にも大へん良い結果を楽しま する様な事があります。若し が出て氣持ちの悪い様な 下が出て氣持ちの悪い様な なりますこ、湯や水で洗つた なりますこ、湯や水で洗つた なりますことが、洗顔に なりますことが、 なりまない。 なりたい。 なりまない。 なりたい。 なりたり、 なりたい。 なりたい。 なりたりたい。 な

たが出ましても自物が剝けた なりましたら、化粧川美額水 で進したガーゼでその上を軽 く押へます。かうしておぎま 事がありません。 り重ねて白粉が適當の濃さに り、斑になつたりするやうな 水さして化粧用美頭水がでは れてるます。こ云ふのは呼点 美顔自粉を化粧用美頭水で に一段さ美しく附くやうにな ので、たこへこれまで皮膚の が微なさで思ぶやうに美しく お化粧の出來なかつた方で お化粧の出來なかつた方で で、此の仕方が此のは版く行



はないが、暇が掛つ なに勢なく美しく出来るもの で、前の方々ご御一 長くなるのでお洒落のや 思ひのかもあるやうですが 思はれて…、ここんな風に 七良く出來す、 お化粧は嫌ひ

や、脂肪性の方、また御年ば 水の方は色の除り白くない方 水の方は色の除り白くない方

せ暇覧 お化粧は 掛。 ものでせうかり 次を御らん下さい 3 今一つ…、

> 仕様のない 方。

市品

いお化粧の種々

ますまい。たが併し、では一はごそれは御無理でもございはごそれは御無理でもござい す。白色美顔水(又は肌色をの御州の合間に、ほんの 小供はある。用時は多し、

うな場合。

水)で早化粧なさるに限りまれ、かういふ時には自色美顔水でしたら肌色美顔水でしたら肌色美顔水 も)でする、たい 白色美頭水(肌色美頭水

吃度、お化粧を顧みなか既を御らん下さい。あないの合間に、ほんの一种

急ぎのお化粧。



上品なる

半季数は 3

◆獨特の化粧作用で非常に上品 美を現はすため美しさは二倍 なそして非常に清新なお化粧 化粧できるためお手数は半分

お化粧の美しさを増しも減ら

せん。

自粉の附け方の良否がまた

を重ねて塗る

白粉は薄めの

では、それで制めて足のたい、では、とれて制めて足のたい。 とれて制めて足のたい。 とれに関係が最もらい。 とれに関係が最もらい。 は極めて通信のがは、これでは、これでは、これでは、これで制めて足のたい。 とれに関き具合し、これに関き具合し、これに関き具合し、これに関き具合し、これに関き具合した。 ないので、順化性に関係の心能なに無数の自動者権法に、の心能なに無数の自動者権法に、の心能など、これで制める。

◆大へんに附き易くごなたにも

近し色の白くない方や脂肪性 の方は姉妹品の肌色美顔水が の方は姉妹品の肌色美顔水が

ら、汗や脂肪からの害を防ぐ

▲生れつき色が白いやうな白さに…

▲落附いた美しいお化粧が出來ます

▼総谷化粧品斯兜所創製▲

▲色の白くないのが自然にかくれ…

一年ばいの方にも一

のにも宜しいので、夏は殊に

選びかこお化粧の仕かごに少 し氣をつけて製きますれば案 外によい結果の得られるもの かによい結果の得られるもの 酸の洗ひ方ー 美を護り養ふ

類は異変でも良い水の微温 がで工事に洗ひ、あまで今一 一次で水でざつる洗ひ直も、十 大に水分を拭いてから、化粧 用美顔水をガーゼの小片に含 せ、それが乾くのを待づてま。 でおさ、て白粉を落ちつか でおさ、て白粉を落ちつか す。これは少し前側ですが、 さするには斯ういふ風になさ た整る言いふ風にするので のを態度にも重ねて飲るやう け方の秘訣は、濃いのを一度 に附けずに、成るべく薄いめ

溶き方に就て

附けがの秘訣は矢張洞じ事間焼白粉(または煉白粉)と 急ぎのお化粧 いのなかに宜しいのです。

は除りお薦めできまねます。 手早なお化粧の方の 日粉を斑にする場合が少くな

こお刷きになりますこ、等なで、色が如何にも高らかに上く、色が如何にも高らかに上く、色が如何にも高らかに上く、色が如何にも高らかに上く、色が如何にも高らかに上く、色が如何にも高らかに上く、色が如何にも高らかに上く、色が如何にも高らかに上く、色が如何にも高らかに上く、色が如何にも高らかに上く、色が如何にも高いできない。 かみを持つてるますから、一 すした之れだけの事でも殊に お人柄なお化粧美が生れます 他し色の白くない方は肌色 い。また脂肪性の方は大を御の美顔粉白粉をお用ひ下さ らない場合。これも前に申し すが、併し外出ミいへば家に すが、併し外出ミいへば家に るるのには遠ひますから、多 少その間の御用意が必要にも 中せませう。で、若し時間が ゆるせば、先づ化粧用美顔水 をガーゼか股階線の少片に含ませてお顔を拭き、次に自他 ませてお顔を拭き、次に自他 ませてお顔を拭き、次に自他 品に出来ますし、また長保ちは肌色の美顔粉白粉)をうすは肌色の美顔粉白粉)をうす け、その上に美顔粉白粉(又 化粧品が大事 りません。 かに美しく長く名色の美を保

學理的研究の構成ミして知ら 特容化粧品研究所はその方の 特容化粧品研究所はその方の 3

2

肌はた

美額水。

▲他の白くない方の白粉―

から美顔粉白粉をうすくさ おし粉化粧をお好みの方で して引き、その

別より興理の上に立たねばな してるます。化粧品の製造も してるます。化粧品の製造も

常記する比粧品の良否で、 常親の美は増しも損はれも致 容貌の美は増しも損はれも致 変貌の美は増しも損はれも致 を変しさのためには、科學的 な美しさのためには、科學的 な美しさのためには、科學的

8

れてるます。自物の主要原料す。 専門の単者技術家が其處で常に研究に努力してをり、で常に研究に努力してをり、で第に研究に努力してをり、でのでは、大きないよ信用を使してるま

そのお化粧上りが大へんに清 らかで涼しやかで、如何にも らかで涼しやかで、如何にも とい事には、その成分の美容 良い事には、その成分の美容 もありますが、味が驚程しているいふ気所があります。そ ませんご結果が面白くありません。また粉白粉は剝けやす 附け易くて、すらく の中でも白色美顔水は非常に の中でも白色美顔水は非常に 附け易くて、すらくくご勢な れで夏の顔の白粉さしてはや

京しやかな顔のお化粧に大切です

頸は……?

かうしたお化粧は見るから に清楚で上品な感じがしてこ 夏の原しやかなお召物ごちよ く調和し、また少々位の汗で 化粧英を損はれるやうな事も 粉の上を極く軽くおさへて軽さ きます。かうした上へ、生々 きした美しい白さの美顔粉白 粉をうすく劇いてお化粧を終

ガッテミルト、ドジンドモナテヤンハ アワテテ オ

ミマワスト

シギサニ アタリ

Pa

「ライオンダ」「ライオンダ」

アゲマシタ。

大チャ

ノタンケン

(89)

3

必蔵危險を一掃をしため

せよ。(不健康は最大の浪費)

2 ~ N

7

ウ

「オヤ!何だろー?」と言ひなが (中)

ましたが、間もなく豆の袋をから ら持つてあたまへ」と張さんは飛 びたつ様にして町の方に配て行き へていきをきって闘って來ました 「さー食べたまへ」と言ひながら 「え」本當ですよ」 じやすぐ買つてくるか

で御馳走になります」と言って慰 はさもおいしそうに豆を食べだし

日

何とかして届けてやりたいな」と

したのださぞ用つてゐるだらうな

分つた!雷さんがおと

に黒野電談と脳込んでありました ら手に取つてよく見ますとその総

なさけぶかい張さんはくびをかし

げました。

ひぶかい目で概を見ました。 心の前に袋の口をといておきまし 「エッ本常!」と張さんはらたが 1 あつてずーつと奥の方に赤い大き 下界の景色ももう間もなく見へな 見る見る内に屋根を越へ煙突を 態はやがて雲の上に着くと、つば チャンの學校ですよ に見て酸々とした原の上に來まし くなったころすぐ上には雲が澤山 「鰯ではありませんよ、人間です 「マッチ経ではありませんよ、坊 「あ」あんな所にマッチ線が落ち 「エッあんな小さくなったの… 澤山騒が歩いてゐる」

月

?」と高く特上げてたづねまし

んがだれもおとしぬしは出て来ま

らひろつてみるとそれは鍵でした

さをたゝんで止りました。。 すから一人でおいでなさい、あの「さー坊テヤンこれからは悲けま

るてね」といひのこして張さんは一館をして答へました。 「あー有難ふ、ではここで待つて」つてお願ひして見ろ!」とこわい

の様を持つて番をしてゐます。 「青鬼君!間様にあはせてくれ給 へ」と張さんは少しも恐れないで

一郎の魚はなぜにげないのでせら

ぐりこみ巧にその小魚を捕へる

までも入りこんで來れば、

それならこの突當りの受付けに行 「何!王様に曾ひたいと申すか、 とったげられるとすぐに散液を注射でかまへるとすぐに散液を注射

父。くもの傾間にはまだし

すねえの

魚を捕る蛛や 蛙を捕る蛛 一郎の何といふくもですか。 ごくありふれたくもだが、林のを吸ふのだ。それから、これは さして、その中にじつとかくれ にひつばり上げてゆつくりと血 てゐるくもがある。 中などにたての穴をこしらへ土

をふさ、何んと問題的なくもぢまふさ、何んと問題的なくもないのですかっ食はれてしまはないのですかった。 のすごいくもが居るでせらね。 りして食ふくもが居るの質の中に入って来る鬼を極収 父。戸をあけで地上にはつてある 父の戸をたて」ゐるからトタテク 一郎の虫をどうしてとるのですか り棚からばたもちの落ちてくる のを變てるで待つてるのだっも し虫がころげこんでくると、 ふ名がついてゐる。 日分の集の中にこ

H

その時間の報下から一羽の題がと

ました。

ポッポッポッ……組ポッポッ 豆がほしいかそらやるぞ

一郎の側が補ちて來たらどうする

のでせられる

やないかっ

に集をつくるのが居るさらだ。

くもにはまだり

くおもしろい

「坊チャン何をかんがへてゐるの

(日草水)

「あ」原君かね、侯雲の上まで行

したら行けるか

今透光より小さかつた腹は、だんマーア不思談……

父っその時には入口にあみをはつ て海の水の入らないやらにふせ ぐのださらだっそれから南アメ リカのアルゼンチンには深い水

襲さんはうたひながら見てあると

今若へてあるのだよし

よ、それならお安い

ろには驚より大きくなりました。

大きくなって豆のなくなるこ

「あゝおいしかつた……さー坊チ

…のつて

一郎のあの蛙になるオタマジャク

くもですねえる。これですか、配分的な

父。ところが居るのだ。アプラハ

あといふ人の書いて事物を見る

ないでせられっ

たべるくもがあるさらだったべるくもがあるさらだっ

一郎のお無を捕つて食ふぐもは居って食ふぐもが居るさらだも捕つて食ふぐもが居るさらだって食いではなりまで

な小さい分間では僕が乗れないじ

がら申しました。

うだつてそん

下さい」と態はおなかをた」きな

せて下さい、そうすれば直ぐに大

ですから私に豆を食べさ

と離はすで飛上りました。

父のもつと面白いのがあるのウッ

ボカッラといふ虫を捕つて食ふ

くもは心の岸の岩の上などに魚いふくもが居るさらだが、このいふくもが居るさらだが、この

ないと落ちますよ」と言ひながら

「坊チャンしつかりつかまつてる

うの管の中にかくれてるて、ぞ

秋の夜長を鳴き通す

キリギリスの話

今一つの種類は大へん大きなもの

がついて居ませんが。私は先年北であります。此の種類はまだ和名

たが、これにシナキリギリスと云れで、これにシナキリギリスと云

いらないとのことであります。

山郷郷しました。朝鮮南部では見

して根線狀になって居るのど同じ

のおよいで来るのをまちぶせて

で長さが一寸五六分もあり腹部は

種類が全然別ですから壓名もちが

翅の短いシナギース

大連第二中學校敦論

あしかありません。一寸五六分の 大分五厘、脚では餡かに五分ぐら 大分五厘、脚では餡かに五分ぐら

洲産の民職をしらべて見ます

ますと、減別には日本内地のとち

からだに催か五六分の麹ではまこ

時はキリギリスの城勘だちうと思めて満洲に来てこの虫に被跡面の

てそれで右の前翅の内臓をこする

い飲があるからそれが援助してい

にヤスリになつた親臓が臓にあつギリスの鳴くのは左の前型の内臓

はちがつた種類が二種程よけいに 以上補別には日本のキリギリスと

河のキ

Mによりもみじかく、又理の耐いくつもならんで、

つてゐるキリギリスで、揺が少し

なじかい種類でした。それに他の

キリギリスとちがふのは前類がみ

じかく、小さいばかりでなくて後

から変大寺に行く路の到る魔で深

は普通に居まして、このごろ概り

死んだキリギリス

「しきりに脚をこすつて」と

りすが鳴く」といふ記事の「死んだ

桃

洞

笑。トタテグモの楽は中々見つか らないやらにこしらへであるが 時にはどうするのでせらね。 一郎の若し自分より強い酸の来た 次の中で一生けんめいひつばつ はれることがある。そんなとき てゐる。それでも人口をぶちこ とごちそうになるのだっ

そんなときには、穴の底に逃げ はして入つて来ることがあるが

3 ったって、一同は海に我先にと入った一つしやうけんめいになって 入月三日の午後二時から私達は先生につれられて水泳に行きました 生につれられて水泳に行きました おは思はずひやりとした。それからなれて姿心して派げるやうになったので全部が とつた。社の織がなつたので全部が 上つた。磯の上にすわつて遊んだ で管探すましで海に入った。 水體一ばいあふれた。 水譜に 私は一人早く殊ぎたいといふ つめたい海水が體にどぶんと んだん出来るやうになった。

野ぐ時と同じ音色を出します。それから蛆の鳴くのは密郷だけであ、つて大きなシナギースでも棚の方でました通り郷の翅よりも 握するのでありますが生きてではさんで左のヤスリに當て 水派は何よりも私は好きだと 鳴かせ線がありません。 聞きませんがもちろん死んだ 歌もありませんから出きたの 思ひ カタルの 對病原治療法



大チャンメガケテ トピカカリサウニ こんでしまかっもし酸が気 も刻すらかれる

一郎。なかく、用心のいよく 一般の知らない間にサッサとにけいめこしらへてある非常日から あらか がくなるからこの位にして、 水泳が大好き うり酸

とは又此の次お話をするこ

馬淵百人

何故赤痢以上か

白作用の

すぐれた

コレラ、赤河等の急酸性感染 たれらは標準に強ったなった時には磨破のは勿論であるが であれば減多に確らす。また確 であれば減多に確らす。また確 であれば減多に確らす。また確 であれば減多になった。 であるが たれたけ。

にとは容易でないから、常に信いた時は、一文権しみの百様である。 を強防し、蔵一下痢疾病吐傷をを強防し、蔵一下痢疾病吐傷をを強防し、蔵一下痢疾病吐傷を をすることなく、健いではなったものは、前述の通りを指置いて慢性に関すの内壁が傷つき無れてあるが、たったものは、前述の通り場であるが、であるから、に難いて慢性となったものは、前述の通り場がなった。

此意観し下腹痛み減り噌り飲き 慰護まず胸つかへ腹はり配つき を滅じ、血色を失ひ、夜観れず

証の徹底的根本治療に 赤痢より危険なこ

抗力なく凡ゆる像染病酸に使され 場に死病の壁の手にどらはれる 版過多のため食前食後胃治療み

痛を捨置けば 常に下痢し、便には熱液濃汁を湿じ少量の飲道や不消化物にも忽ち痒み

電物を食べても益々養親を加へ は、

プ がある!

新式の白粉下

トドリ

E

町藥局

樂しい遊び場所です

健浴場

歌門 職家の御後獎を受けつりある 郷泉の確認なる無鉛機有機さして 旅溫)

自然色

飲 店商養平尾平

純無鉛白粉 美が生れます 明る 白さがお肌に になる 徹底して……

一倍の興味 が伴ぶわけ

A平洋横斷の處女航

ゴンドラ着陸 灯を點じ窓から地上に答ふ

こそれだけ太平洋館 のである 販売行には無限の継味を

無事格納作業を終る

服児屋中田

湿正

白小蒲うな新焼ぎ

二十五額額

季

馬

八十錢

伊斯會所 新語作 斯語作 出理 地 出理

勝馬投票券所

(星ケ浦競馬場 金は希臘ノ二種 金は希臘ノ二種

『東東特徴十九日歌』ツエロ歌楽 歡迎日程

病層皮

用外

海に山

登山に海水浴に 避暑に都婆にお出事

油油

お忘れなく一個

自動車用品

設福昌公司自動車部販賣所

けの時は、よく出先きで独り傷や

モ、タイン等に備まされる事

二日目滿員札止

際吉少佐が

無型しるして船割から飛行道に除 なに高り同業の藤吉少佐は 東に向ふに高り同業の藤吉少佐は 東に向ふに高り同業の藤吉少佐は 東に向ふに高り同業の藤吉少佐は である。 娘の屋紅

怒濤の如き歓呼の聲を浴びて

東京横濱を訪問す

第二コース略圏 大西 洋

滿鐵社員上海

著なるものは一二二でございます

手嵩として

そういる不時の外傷に動

しまず痛まず内政せず心地よく着る

格安中古品在庫

クライスラー・デソー ブリムス・其他各種

と一個旅行物にお忘なく御用意できい皮膚病薬」との高許ある一二三を ゼ

ひぜん しらべも

北京 はたけ 大きれ 彩かせ 湖 がで

田里いんきん。水里しつくさ

主

上海神代十九日秋 過志村悦郎氏は十七日上海に川要 し來り、今朝發病、コレラと診断 し來り、今朝發病、コレラと診断 (虎疫に罹る

松山高商の | 財界過病院に収容された

四時十分終々其の理解を置か浦上窓に機たへ突如船首を左に側面して四時十五分飛行場の上窓を埋むる五十萬觀樂より影響の如き観呼の緊撃る、大空には鏡鏡の如き陶雲震び殆ど無風残骸でを帰か浦十九日發電』クエは鏡は三時四十九分高強の上窓に一抹の黒籔となつて表現に入り霞ケ浦附

一十十十 の上文に現場の表示を得ち受けた、からる内に四時三十五分千住のドイフフリードリヒスへーフェンを出露したフェ候戦は一萬一千基の職種を得っていると、民家の屋根上等に関した我園民は無限の歌唳を属すると共に一種の虚骸を魅えたのであった、朝来教人に来る谷に関いた我園民は無限の歌唳を痛ずると共に一種の虚骸を魅えたのであった、朝来教人に来る谷に関いた我園とは無限の歌唳を呑んで同戦の飛来を得ち受けた、からる内に四時三十五分(日本時ドイフフリードリヒスへーフェンを出露したフェ候戦は一萬一千基の職種を見事挑映して航空時ドイフフリードリヒスへーフェンを出露したフェ候戦は一萬一千基の職種を得つてあると、一般の一般のであった。朝来教人に来る谷に対して地の大陸物の

帝都の上空に現はる

に質益各一個をWる」タエ信端來館 とは、1000年間をWる一個又第一點 となった につき見き通りでは練司令エッケ につき見き通りでは練司令エッケ につき見き通りでは練司令エッケ につき見き通りでは練司令エッケ

十九日午後四時十五分

銀杯下賜

二十二日より實補軍を敵手に戦ふ 九日五時來連

議戦見物に守った 一行十三名は十九 は難しさらです にて到着した同

東京市第田護明第下 東京市第田護明第下

X外內 線 花小 柳兒 科病科

近藤病院 電話五四六九番

今囘左の通り 川日報社廣告部

大連市伊勢町電話四六六八番 帳, 商

廣告部電

相四年入月廿一日(水曜日) (特産、鍍砂、各項相場) = 零時三十分 ラザス

善歌の勝取にむからの議跡を探げる▲七回二死後伊丹が二支者を置いて三縁難に打つた球は三輪打となって二者生遷したが、清俱からなって二者生遷したが、清俱から

個の事

研弋したる後下舵を取り軍樂吹奏観衆熱狂裡に無風々模樣の内で浦十九日發至急報 横濱訪問後六時霞ヶ浦清陸の姿勢を取り無い事一度ケー浦に 着陸 とて神奈心経廊上完より形外に出で勝首を 地五十分東京の上空を通過 「東京十九日翌世」午後四 太

祖漢を訪問し引返す

平

野球團

はら屋花

理髮は

達した野球ニチーム

「風上」と成人とい

華人最初の 理學博士 して我國最初の理學博士

出是との必招慢多年経験を の御らず致しを の御らず致します と存満ではます と存満でである。 を存れる事位 を行れる事位 を行れる を行れる

秋催 新 8 界各國酒類 小きの 鳥やさいみそ 東京風菓子謹製を 八月||計圖(地)八月三十月も W と解 资京豆煮 味やタ 製特萬雅 ス山ゆた ツーが根ずい 九月百旬 ンみみみみそそそそ **年日午前** 第一年前 第一年前 000

浪速町大連 (右入口)

內 店

早大軍武運拙く敗れ

漏倶軍豪勇に勝

九人對八の打撃戦を演じた

皆

0 履物三雨傘口

東話六三一八番

・現金ね、奥さんがきまった。

随分おきれいな方です

支度をしながら流

ですからなるたけおちついてお話

が水を流して貯めたと二言目 ・放し方を汗挟いで見る幅なり ・放して貯めたと二言目

「ほう!しかしそいつは抽脈がなの日來るやうなところがい」の

期り超す士へポッタ

- 君には草野君といふ人がついて と、英鵬は内心ぞくくとなり

英輔は有頂犬だつた。もうことをで置きつけた。

と、英麗はニャーしながら、 郷を見せるやうになったぞと思 英献の蘇を上映道ひにちつと、美知子は矯臚をつくりなが

実知子はいそくと部屋を出る 実知子はいそくと部屋を出る と異隣側のなかへ飛び込んで地震 で、彼女の数に取って好した。 いつもよりは念入りなメーキアッ いつもよりは念入りなメーキアッ と輝いてゐるやりに見えた。 ながら、丸い臓をくりくと動かながら、丸い臓をくりくと動かる事を有先でいちり

坂道へ車くの字の汗 行ばんだ裾が雨脚からみつ

1 の解れ合つた手に残る汗 ・ しとやかに坐つて汗がにじむ器 ・ 電 1ついた子供の汗を拭いてや

行の養殖知つて世間が酸くなり 薬・牛・子 飛び業つた汽車に安格の汗を試

ちと早い良人の足へ汗をかき 地域の肝へすまない針仕事 地上りの銀棒に強んだ別な汗 他上りの銀棒に強んだ別な汗 を 島 を 別 を 日宝に発肝の味かしこまり を 日宝に発肝の味がしこまり を 日 を 日宝に発肝の味がしてるの を 別 を 日 を 日本に発用がに関めてる を 別 を 日本に発生の 日本

東議は汗を掘つたつりを裏し 能がて来る

ソバジャー博士發見の 有精海草抽出藥

造血新剤にして効力確保のものなり

對し張力なる促進作用を有す

は骨髓の血再生機能に

理研レ 1000 (AMENE)

にして驚異的赤直環の増加を促す

は服用後極めて短時間

登明にして近時治療界に興味を喚起せる肝臓製剤なり

は理化學研究所中原醫學博士の

は生肝臓の主成分より飢裂せる

ひ、そんなことを云ひながら実

でしたかれ、その倭女子さんつが「ほ」、あなたには、倭女子さん

いてるらッしやるしませいと、実知子は笑ったがっまっと、実知子は笑ったがっまっと、真難を答せていって「ここを勝さんにもねいをいったのお耳にだけは入れておかなけりやならないことなんです。それにお目にかけたいものもあります。

服部第二郎博士(東西醫學大鞭昭和四年五月第二〇號)項固なる高血

壓病に用るでよく血脈体下の目的を達したる例を経験せり、

直歴の

し後に至って再び上具する場合少き如し

降下は比較的永續

香地羽澤文庫 (定價

朝鮮要素合大倉社
生殖機能減退、貧血症
ニナロ分・三層中
ニナロ分・三層中

人参ヱキス

麥精腦

八理店

日本賣藥株式會社

(V)

庁時⇒早~危地 海貴來で自己 ● 一世の学生で、日一己診察したので、日一己診察とて、あることの動脈硬變してあることの動脈硬變してあることの動脈硬變してあることの対象は

决速町四丁目(扇芳亭補)

安富醫院

電話八五〇〇番

づあなたの黒い歯と わたしの貰いろい歯

スモカを介して一致させることでする

失唱して日く 先づお互の 色彩の融和統

英幅は乗り出すやうにして云つないようれ、一朝ドー ないよりれ、一緒に行かうし

路目

大

お供しますわいいっぱ

水府氏歡迎句會 水府氏歡迎句會

三蛛の手は豪詞になって汗を拭

補負車汗へ隣りの風を借り

自覺前徵症狀

大連南山麓鄉

二二一〇共營住宅電車

水原小兒科醫院



場日 (街來職務近) | | 八月十日より 太利 調・山極スモカ つて製作さ 藝術品 展 0



本利號 八月光日初期 有利號 八月光日初期 英利號 八月光日初期行 英利號 八月光日初期行 英利號 八月光日初期行 にんし ん按腹

聚 级 店。 丸、二一、商 會 寫屬客商。 丸、二一、商 會

事局荷客収扱に(大道市山麻) 事局荷客収扱に(大道市山麻)

大阪商船(株式會社) 大阪商船(株式會社)

戶日清汽船數出

沙河口切符發賣匠大山通り切符發賣匠 國際運輸就

●機強直行 天津行 輝化粧品

大阪総式・東京の大阪総式・平のので

の大連汽船出

百二五五人

全 島谷汽船

外科手術前後期惡性貧血症

勞倦怠感

李宗行、福壽丸、公共宣後七時大連龍口安東縣命令定場船 安東行、海岬丸、公共宣後七時 大連加賀町三四 大連加賀町三四

辨天堂主風呂崎

手足の痛む御方様

日本氣艦城大連出張所 大連市山縣通電話に**大匹**九番

取辞郵船株式會社大連代理店 服客業務代理店

●横 法 市

大神、牛莊